DIGITAL VIDEO EDITOR

PROSPEC

デジタルビデオエディター　取扱説明書

DVE776

●このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは大切に保管してください。

目次

はじめに

梱包内容一覧 / 仕様 —— 2
使用上の注意 —— 3
各部の名称と説明 / リモコンの電池交換方法 —— 4

ご使用方法 - 基本編 -

電源を入れる —— 5
電源を切る —— 6
再生機器を選ぶ —— 7
回路を通した映像を出力する / 回路を通さずに映像を出力する —— 8

ご使用方法 - 応用編 -

特殊再生をおこなう —— 9〜10

ご使用方法 - 上級編 -

メニュー機能を使いこなす —— 11
メニュー項目の流れ —— 12
メニュー項目の説明 —— 13〜44
全ての設定値を初期値に戻す —— 45

接続の前に

接続に使用する端子の種類 —— 46

接続のしかた - 基本編 -

接続概要図 —— 47〜48
セレクター機能について —— 47〜48
再生機器を接続する —— 49
録画機器を接続する —— 50
電源を接続する —— 51

接続のしかた - 応用編 -

ハイブリッドレコーダーへの接続 —— 52
D端子入力搭載機器への接続 —— 53〜54
プレイステーション 2 への接続 —— 55
ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続 —— 56

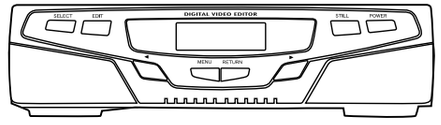
故障かな？と思ったら

使用中のトラブルと回避方法 —— 57
Q&A —— 58

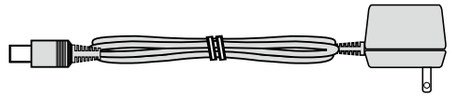
はじめに

梱包内容一覧

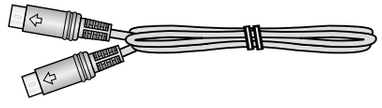
●DVE776本体 ×1



●ACアダプター ×1



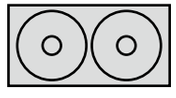
●S端子ケーブル ×1



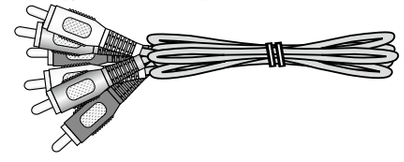
●ユーザー保証登録カード ×1

●コンパクトリモコン ×1

●滑り止めパッド ×4



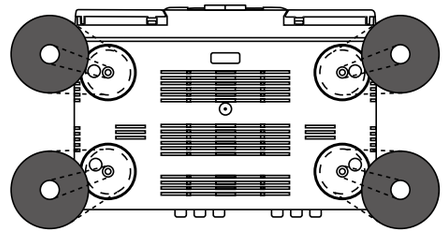
●AV接続ピン端子ケーブル ×1



滑り止めパッドについて

DVE776本体底面に付属の滑り止めパッドを貼ることで、より安定した設置が可能です。

台紙から円形の滑り止めパッドを剥がし、左図のように貼り付けてください。



仕様

DVE776本体

●消　費　電　力：約5W以下
●定格入力電圧：DC6V
●本　体　材　質：ABS樹脂
●本　　体　　色：シルバー
　ス イッ チ 部：クロムメッキ
●重　　　量：約550g
●許容動作温度：5〜35℃
●本　体　寸　法：W219.5×D155×H59(mm)
●映　像　入　力：S端子 ×2系統 / ピン端子 ×2系統
●映　像　出　力：S端子 ×2系統 / ピン端子 ×2系統/
　D端子 ×1系統
●音　声　入　力：ステレオ音声端子(L-R) ×2系統
●音　声　出　力：ステレオ音声端子(L-R) ×2系統

ACアダプター

●入力：AC100V 50/60Hz
●出力：DC6V 1A プラグ(センターマイナス)

使用上の注意

安全のため必ずお守りください

表示の意味は次の通りです。

禁止	禁止を表します
注意	守らないと傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性があります
重要	使用するうえで重要な事項を示します

禁止 他人の著作物を無断で編集･録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集･録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので、十分ご留意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

禁止 本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。

禁止 本機底面に貼付されている封印シールを剥がさないでください。剥がすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

注意 必ず付属のACアダプターを使用してください。また、本製品はAC100V以外では絶対に使用しないでください。

注意 本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となります。

重要 本製品で映像を合成することはできません。また、本製品に録画機能はありません。

重要 ダビングされたソフト･海賊版ソフト･すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能や輝度調整機能などが正常に働かない場合があります。

重要 本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。

重要 ノイズリダクション機能はノイズを低減させる機能となり、完全にノイズを除去することはできません。また、ノイズリダクション機能を使用しますと処理上解像度が低下します。

重要 VHS での3倍録画や DVD・HDD での低レート録画によって劣化した映像を本製品で補正することはできません。

重要 本製品で成人用ビデオなどのモザイク処理を除去することはできません。

重要 本製品で不正視聴防止用スクランブル信号を除去することはできません。

重要 本製品の画質補正能力を超えたビデオソースを編集すると、画質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。

重要 本製品は家庭用に設計されています。長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。

重要 水平解像度は映像の帯域を示します。解像度の低い映像はそのままの解像度で出力されます。

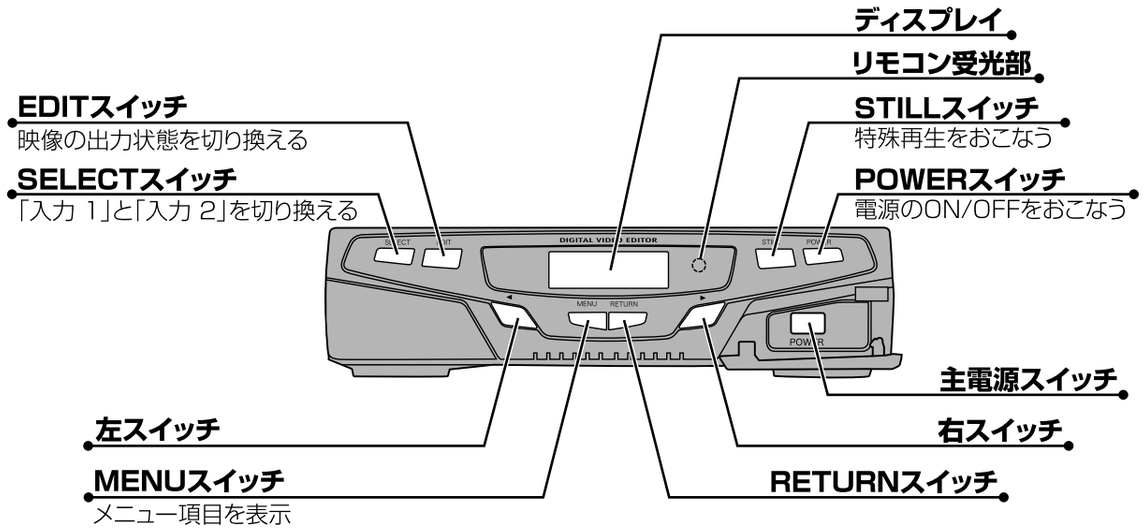
重要 本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。

重要 本製品は NTSC（525i）規格のビデオ信号に対応しています（D2出力時は525p）。

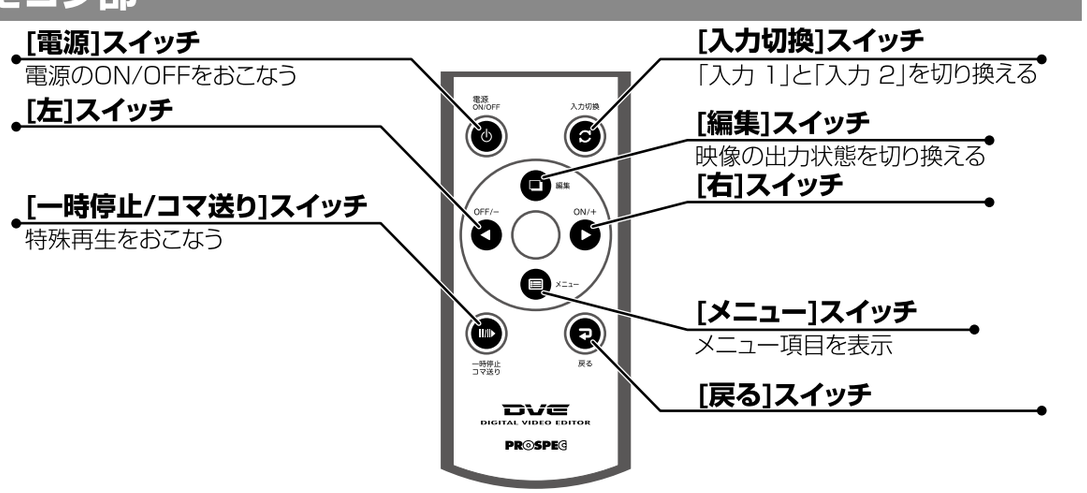
重要 検査･修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、検査・修理・その他の費用は全て有料となります。

各部の名称と説明

本体部



リモコン部



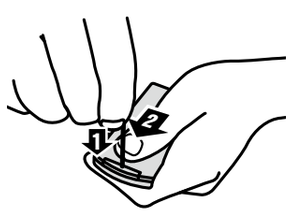
※各説明上の[ ]はリモコンのスイッチを示します。

リモコンの電池交換方法

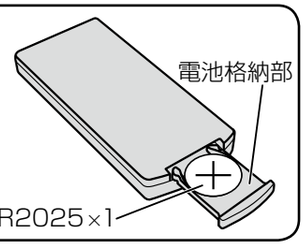
コイン型リチウム電池（CR2025）を1個使用

※誤ってお子様などが飲み込んでしまわないよう、電池のお取り扱いには十分ご注意ください。

① つまようじなど先のとがった棒を穴に差し込み、親指で棒を押します。



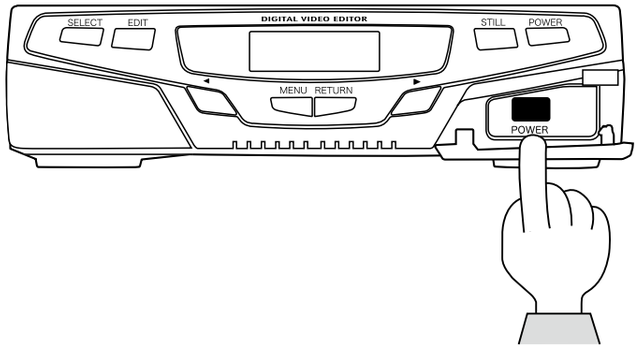
② 電池の⊕⊖を正しく入れ、しっかり押し込みます。

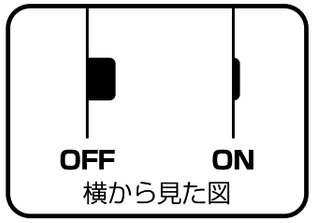


ご使用方法 - 基本編 -

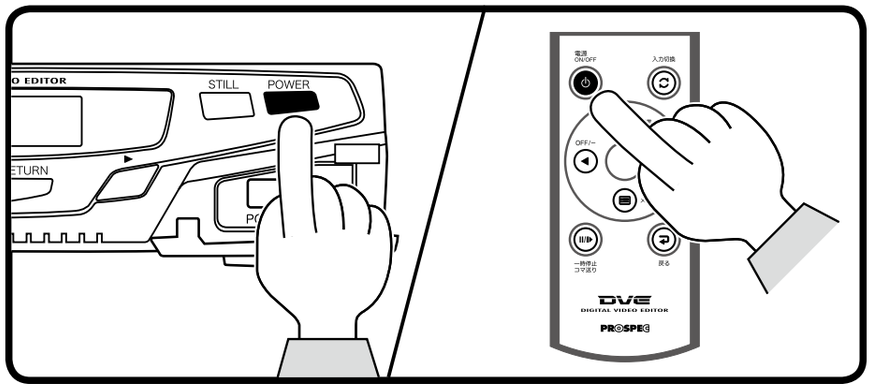
■ 電源を入れる

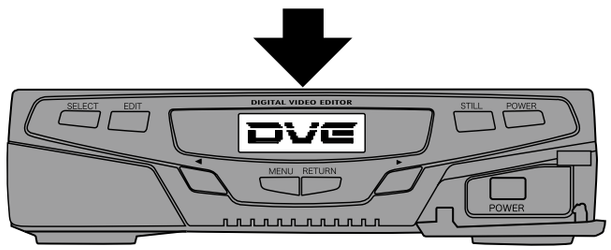
1. 主電源スイッチを ON（スイッチが押し込まれた状態）にする。





2.POWER［電源］スイッチを押す。



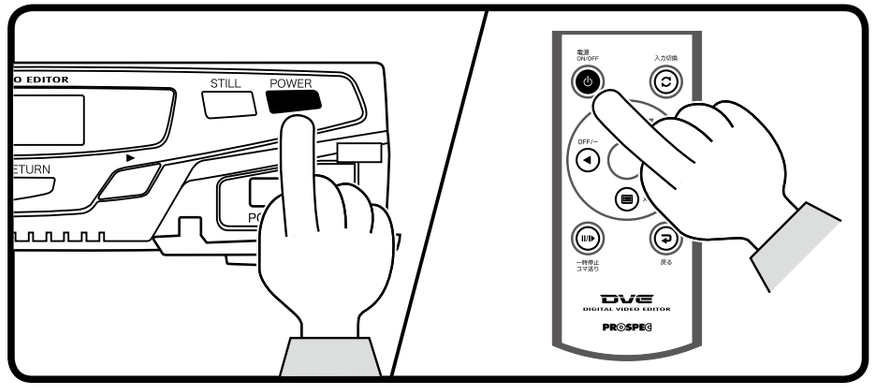


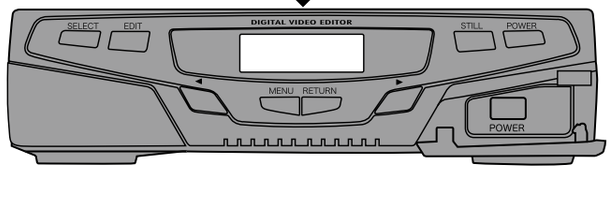
！ワンポイント！

・主電源スイッチを ON にしないと、POWER［電源］スイッチを押しても電源は入りません。
・主電源スイッチを OFF にすると、映像及び音声は一切出力されません。
※主電源スイッチを OFF にした状態は、AC アダプターをコンセントに差し込んでいない状態と同じです。
・電源が入ると「DVE」が 3秒間表示されます。「DVE」表示中は一切の操作ができません。

■ 電源を切る

1.POWER［電源］スイッチを押す。





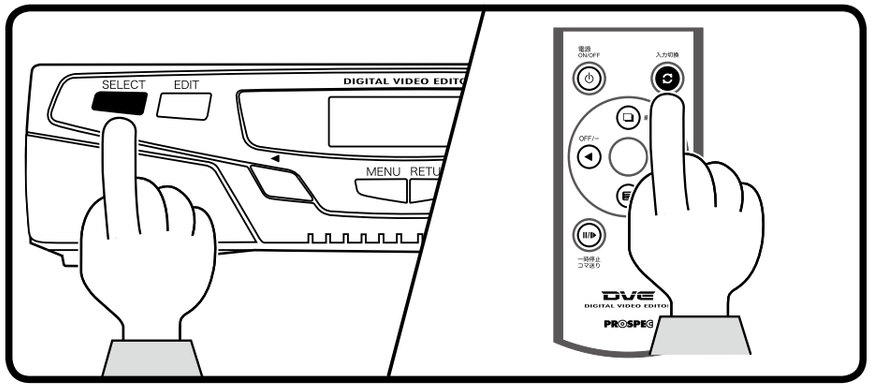
！ワンポイント！

・POWER［電源］スイッチを押して電源を切ると、直前に選択していた再生機器（入力 1/ 入力 2 のいずれか）の映像及び音声がそのまま出力されます。「THROU（スルー）」に設定した状態と同じです（8ページ参照）。
・主電源スイッチを OFF にしたり AC アダプターをコンセントから外しても、設定した内容は全て記憶されています。長期間使用しない場合は、主電源スイッチを OFF にするか AC アダプターをコンセントから外しておいてください。
・AC アダプターをコンセントから外した状態は、主電源スイッチを OFF にした状態と同じです。

ご使用方法 - 基本編 -

■ 再生機器を選ぶ

1.SELECT[入力切換]スイッチを押して再生機器（入力 1/ 入力 2のいずれか）を選択する。



● IN-1→入力 1 に接続している機器、IN-2→入力 2 に接続している機器となります。

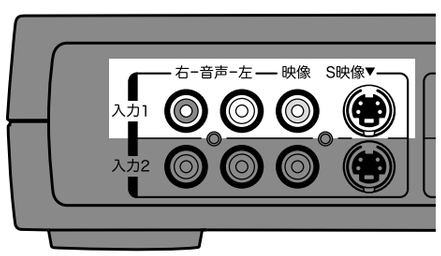
例）入力1を選択

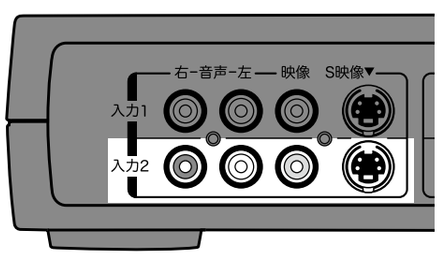
切り替え

例）入力2を選択

3秒後

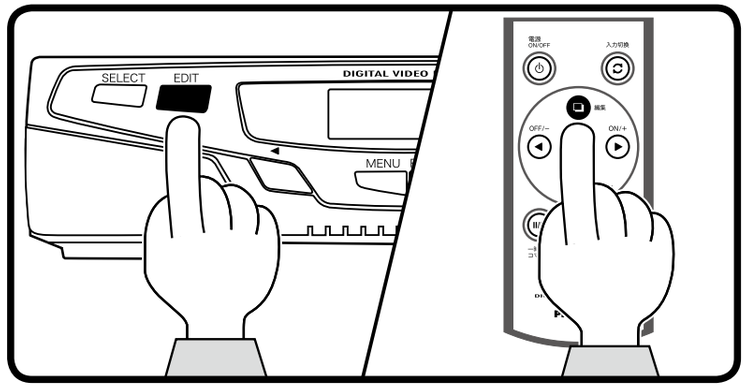
3秒後





■ 回路を通した映像を出力する

1.EDIT[編集]スイッチを押して「EDIT」を選択する。



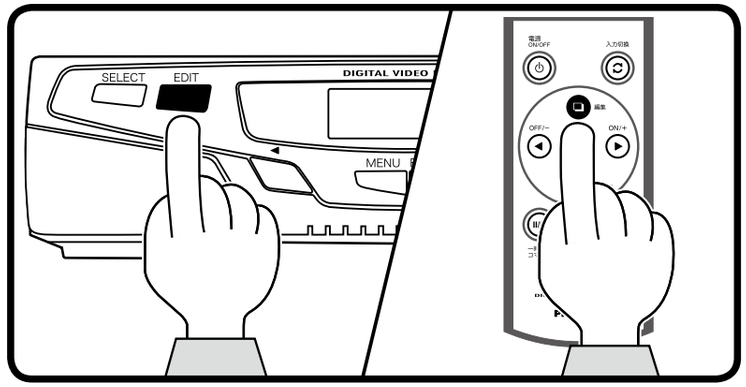
例）EDIT を選択

3秒後

● 「EDIT」を選択した場合はオリジナルの映像ソースにTBC効果を加えて出力されます。特殊再生や各種映像補正をおこなうときも「EDIT」を選択してください。

■ 回路を通さずに映像を出力する

1.EDIT[編集]スイッチを押して「THROU」を選択する。



例）THROUを選択

3秒後

● 「THROU」を選択した場合はオリジナルの映像ソースがそのまま出力されます。オリジナルの映像ソースに一切の効果を加えたくないときに選択してください。

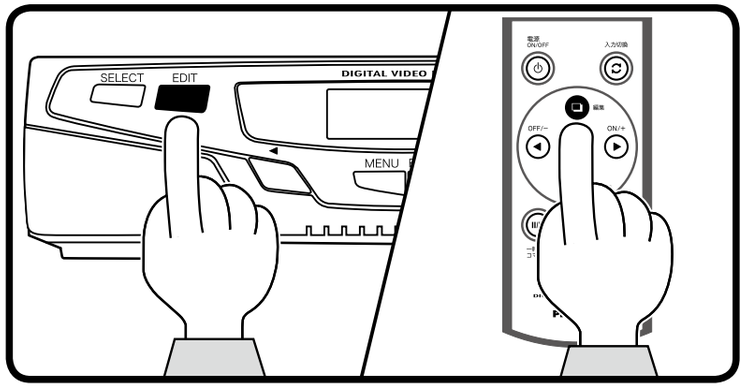
● 「THROU」を選択した場合は特殊再生や映像補正はできません。

● 映像信号を入力しているケーブルと出力しているケーブルの種類が異なる場合※は、映像がスルーされません（映像信号を出力できません）。

※[例] 入力側ピン端子ケーブルに対して出力側S端子ケーブル、入力側S端子ケーブルに対して出力側D端子ケーブル

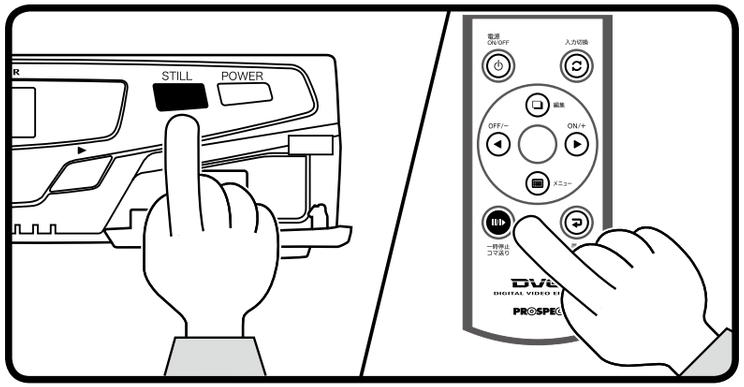
■ 特殊再生をおこなう

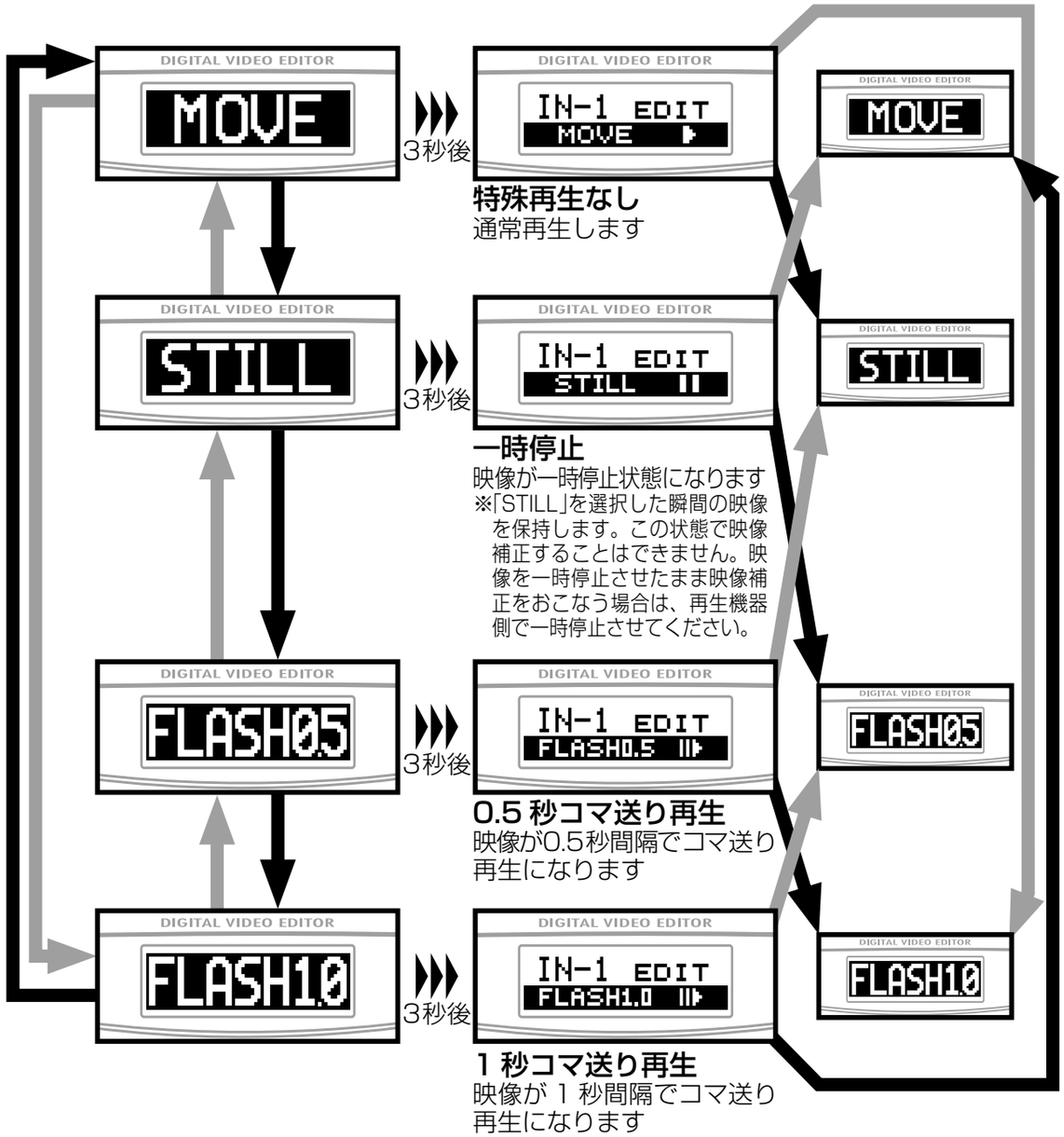
1.EDIT[編集]スイッチを押して「EDIT」を選択する。



例）EDIT を選択

2.STILL[一時停止 / コマ送り]スイッチを押すごとに「MOVE」→「STILL」→「FLASH0.5」→「FLASH1.0」→「MOVE」の順に切り替わる。
※ RETURN[戻る]スイッチを押すと逆回りに切り替わります。





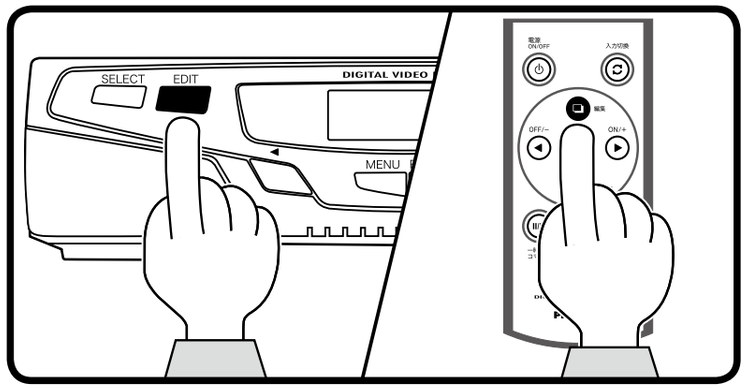
！ワンポイント！

・「THROU（スルー）」に設定していると特殊再生はできません。
・録画中に特殊再生をおこなうと、特殊再生状態のまま録画されます。
・特殊再生中に「THROU（スルー）」を選択すると、特殊再生は解除されます。
・特殊再生中に SELECT[入力切換] スイッチを押して再生機器を変更すると、特殊再生は解除されます。

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

■ メニュー機能を使いこなす

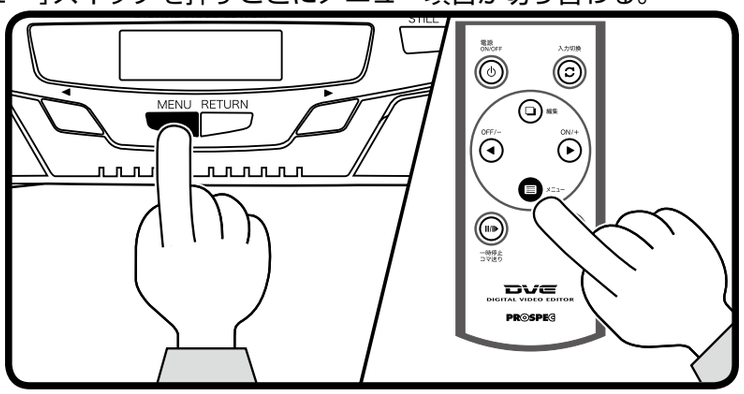
1.EDIT[編集] スイッチを押して「EDIT」を選択する。



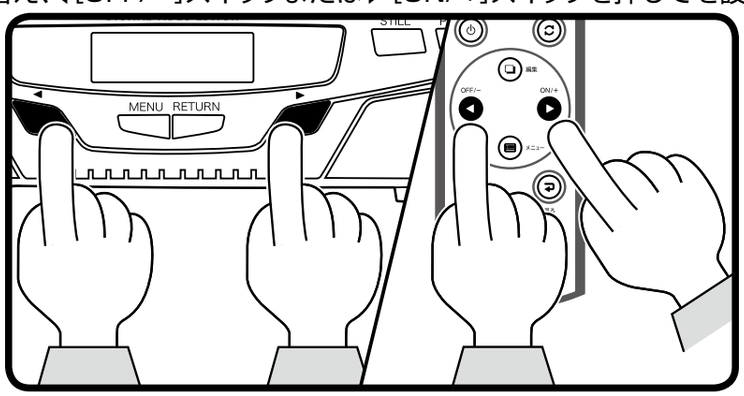
例) EDIT を選択

3秒後

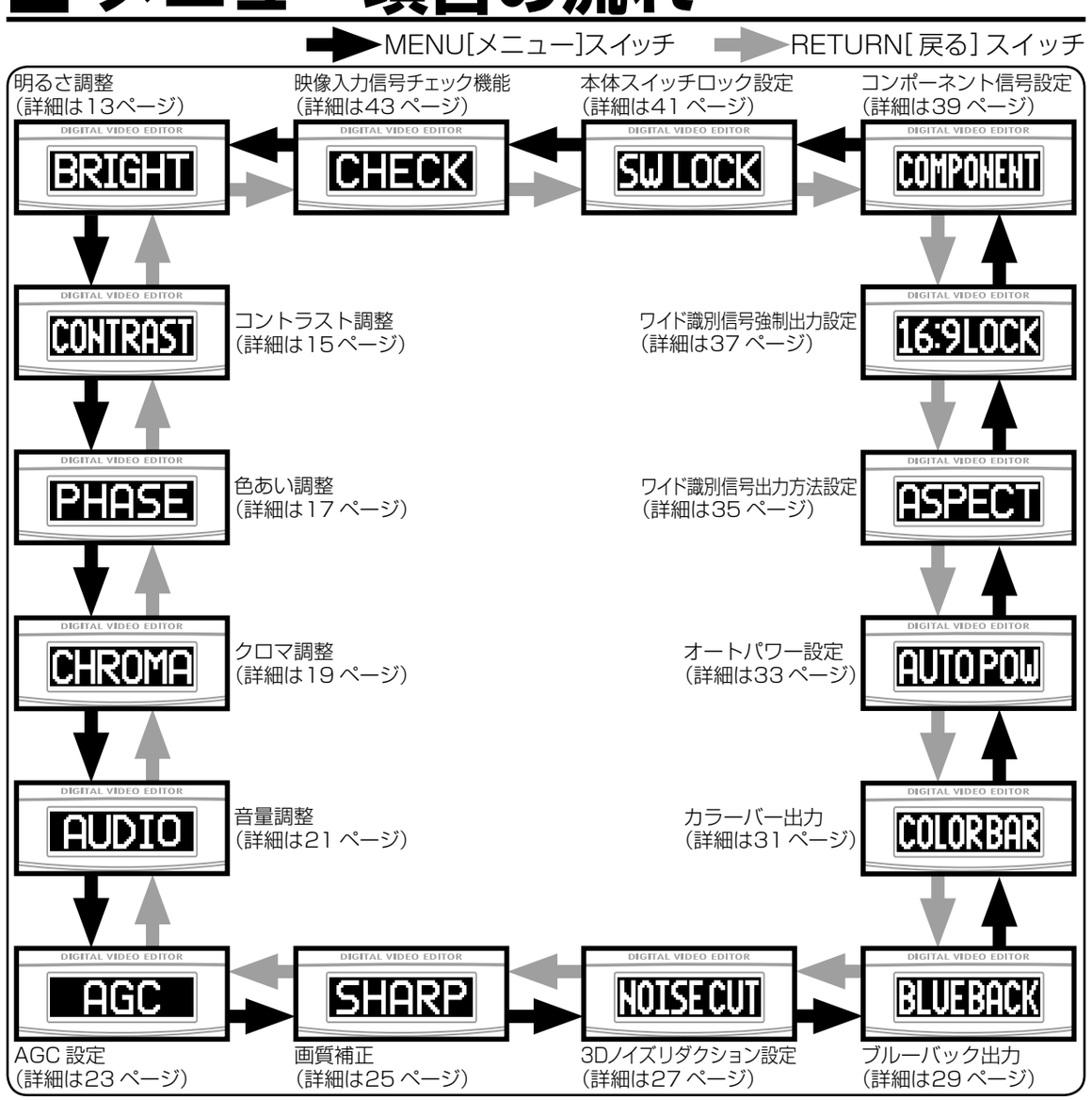
2. MENU[メニュー] スイッチを押すと、直前に選択していたメニュー項目が表示される。
MENU[メニュー] スイッチを押すごとにメニュー項目が切り替わる。



3.◀ [OFF/－] スイッチまたは▶ [ON/＋] スイッチを押して、表示しているメニュー項目の設定モードに切り替え、◀ [OFF/－] スイッチまたは▶ [ON/+] スイッチを押してを設定値を変更する。



■ メニュー項目の流れ



！ワンポイント！

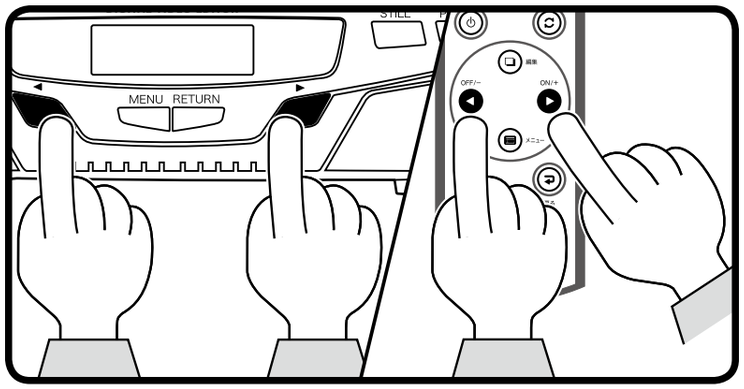
- 直前に選択していたメニュー項目は記憶されています。通常表示中に◀ [OFF/－] スイッチまたは▶ [ON/＋] スイッチを押すことにより、直前に選択していたメニュー項目を表示、すぐに設定変更ができます。
- 「THROU（スルー）」に設定しているとメニュー機能は使用できません。
- メニュー項目は、再生機器別（入力 1/ 入力 2）に対して独立して設定できます。各再生機器によって微妙に異なる映像の色あいやコントラストなどを独立して設定しておくことができ便利です。
- ディスプレイにいずれかのメニュー項目が表示されているときに RETURN[戻る] スイッチを押すと、メニュー項目が逆回りに切り替わります。
- メニュー項目表示中にスイッチ操作をしない状態が5秒以上続くと、自動的に通常表示に戻ります。
- 録画目的で入力した映像ソースをメニュー画面で調整した場合、調整された状態の映像ソースが録画されます。

■ メニュー項目の説明

明るさ調整

[初期値:0] [調整範囲:−5〜+5]

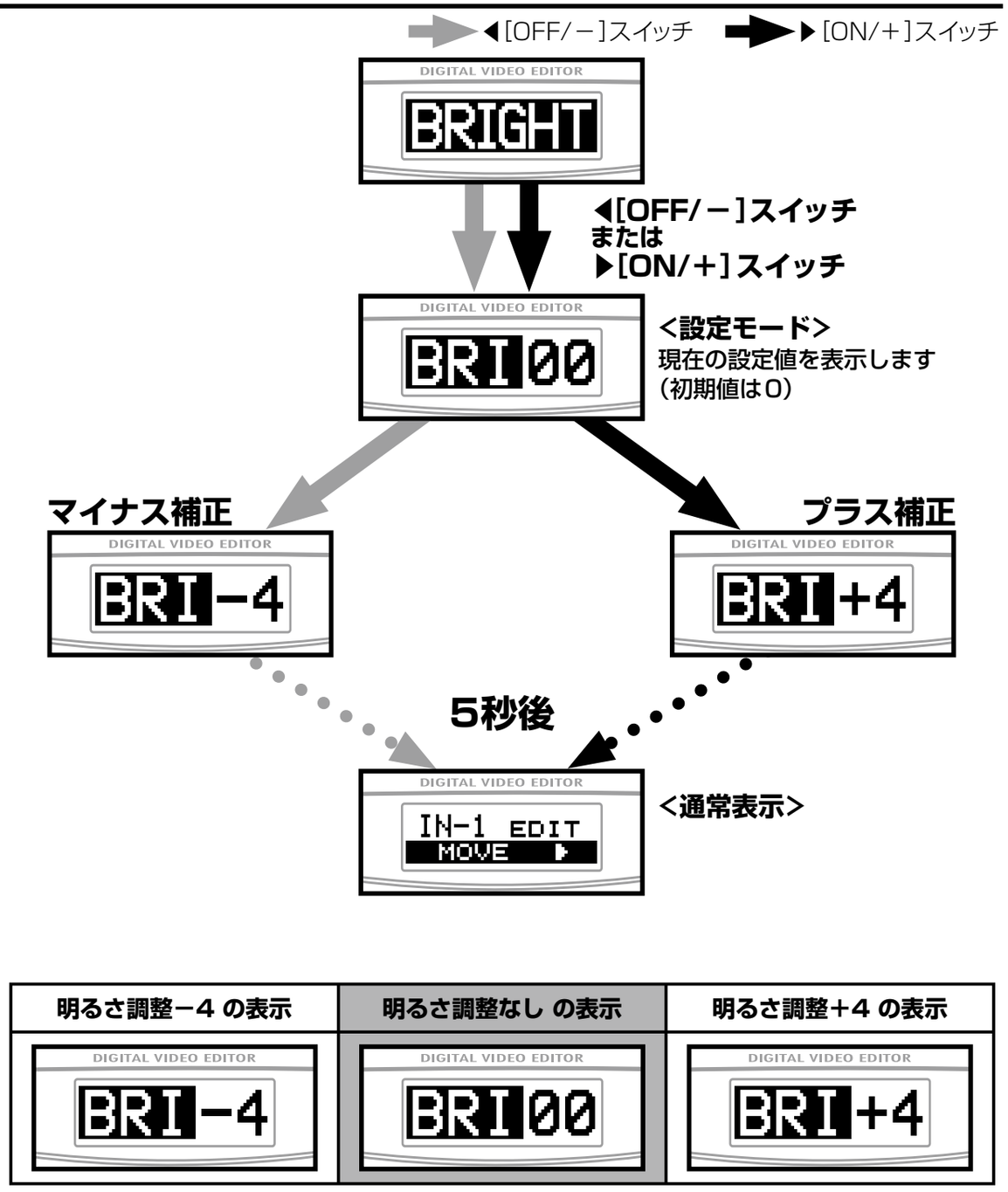
1. この項目を表示させるには、11〜12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/−]スイッチまたは▶[ON/+]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：入力した映像の輝度を調整して出力します。

●使用用途：暗すぎるまたは明るすぎる映像を最適な明るさに調整できます。

●調整方法：**プラス(+)側**に調整すると全体的に明るくなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると全体的に暗くなっていきます。

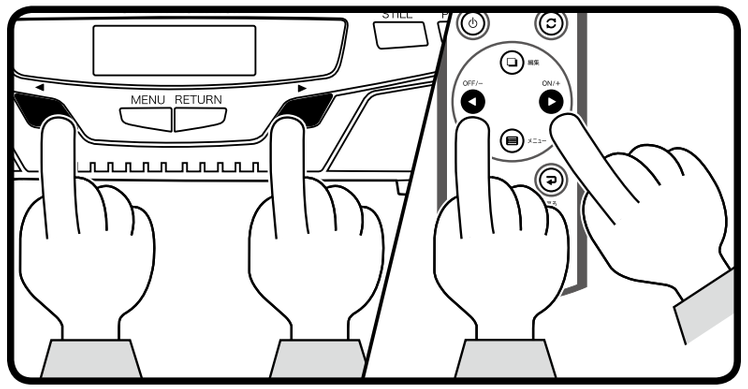


明るさ調整−4 の表示	明るさ調整なし の表示	明るさ調整+4 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR BRI -4	DIGITAL VIDEO EDITOR BRI 00	DIGITAL VIDEO EDITOR BRI +4

コントラスト調整

[初期値:0] [調整範囲:−5 〜+5]

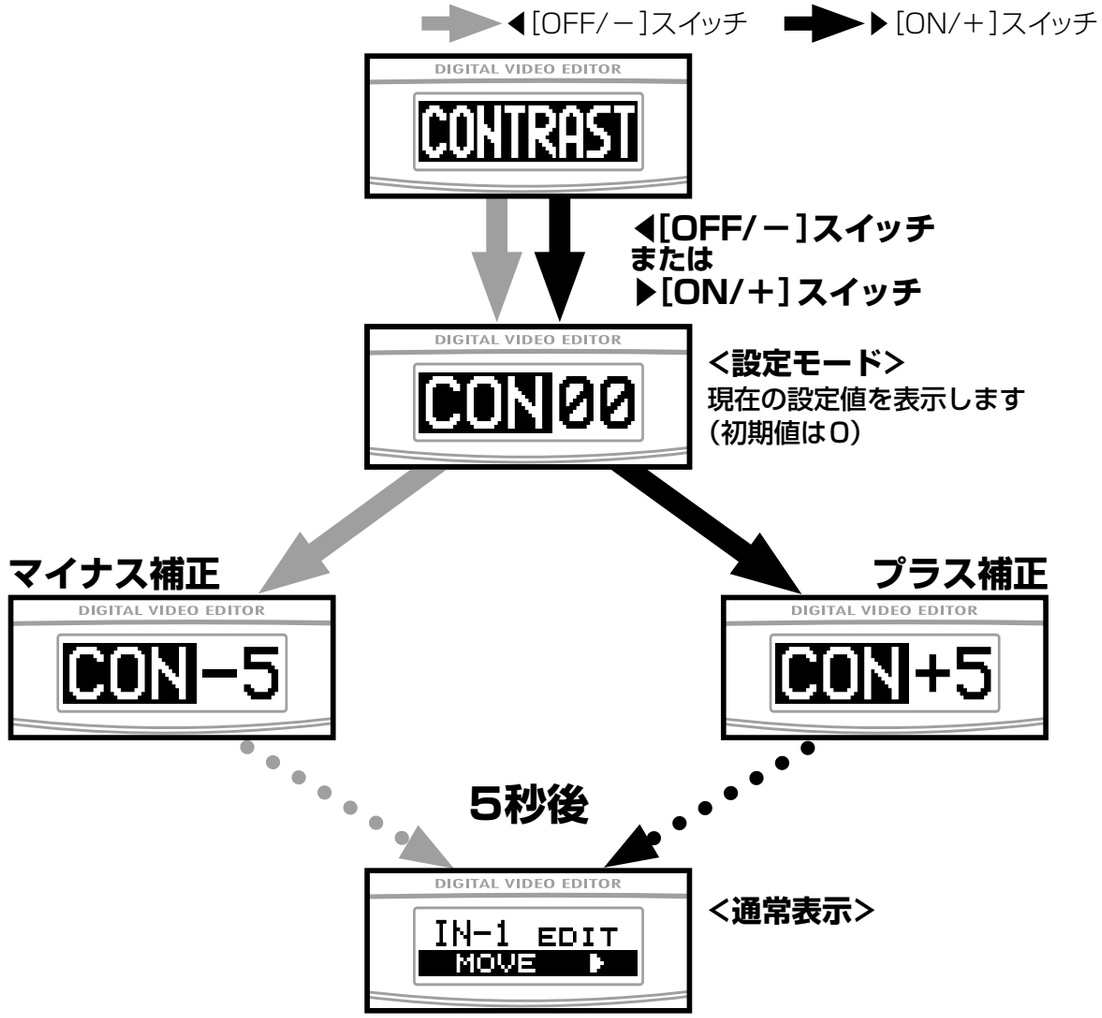
1. この項目を表示させるには、11〜12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/−]スイッチまたは▶[ON/+]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：入力した映像の明暗比を調整して出力します。

●使用用途：暗い部分と明るい部分の差が大きくまぶしく見える場合や、暗い部分と明るい部分の境目が分かりにくい場合に見やすい映像に調整できます。

●調整方法：**プラス(+)側**に調整すると明るい部分がより明るくなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると明るい部分が暗くなっていきます。

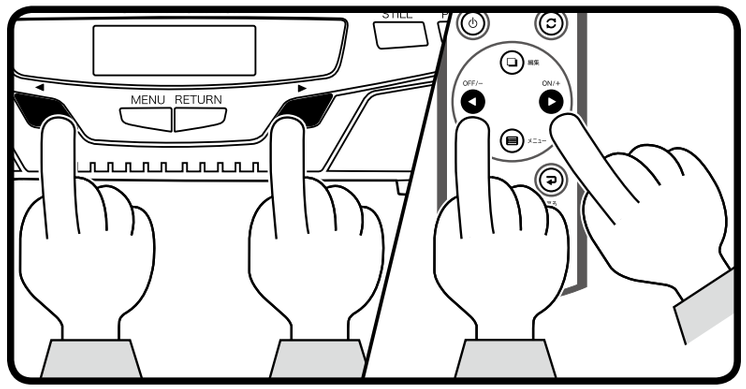


コントラスト調整−5 の表示	コントラスト調整なし の表示	コントラスト調整+5 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR CON-5	DIGITAL VIDEO EDITOR CON00	DIGITAL VIDEO EDITOR CON+5

色あい調整

[初期値:0] [調整範囲:−5〜+5]

1. この項目を表示させるには、11〜12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/−]スイッチまたは▶[ON/+]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。

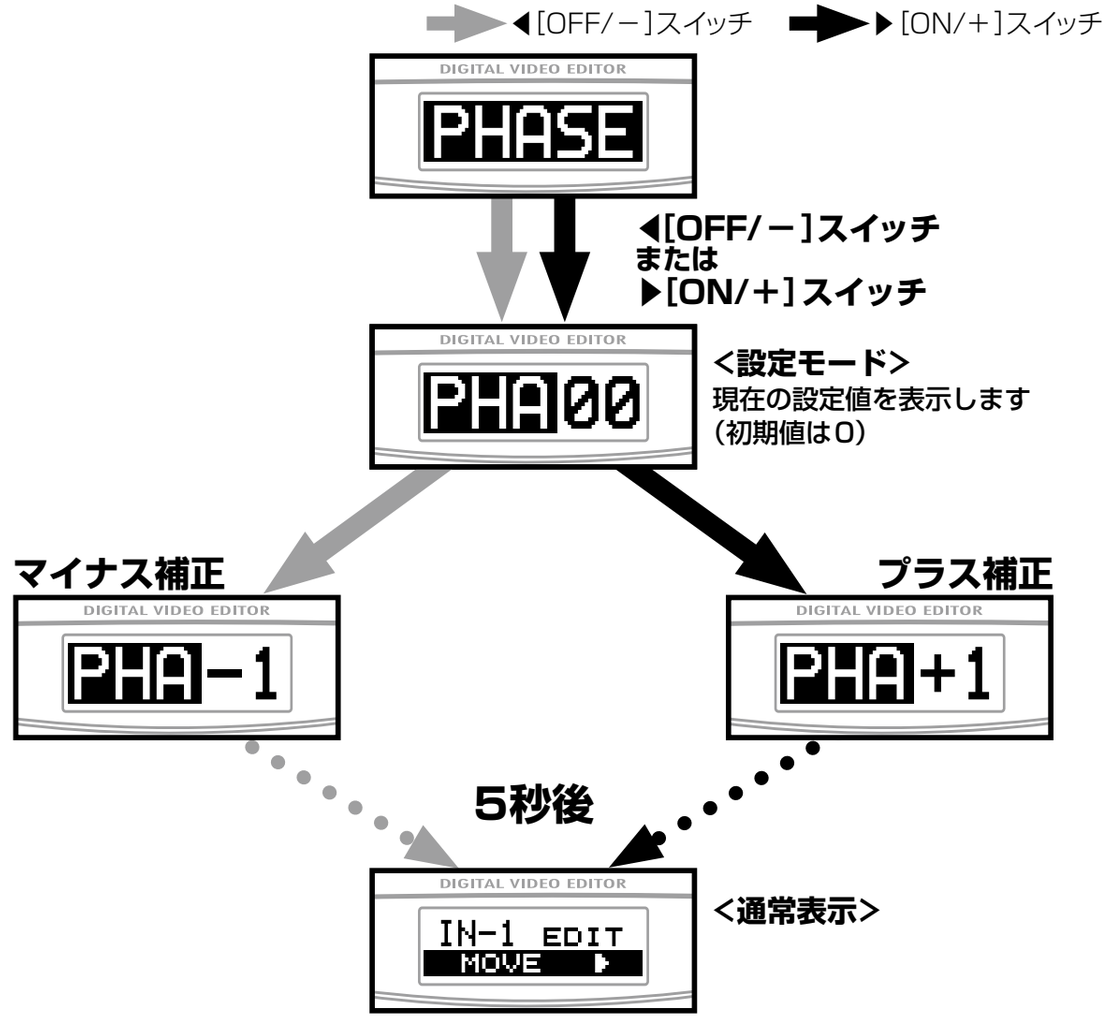


●効　　果：入力した映像の色バランスを調整して出力します。

●使用用途：人肌の色などが不自然な場合、自然な色に調整できます。

●調整方法：**プラス(+)側**に調整すると全体的に赤色に近づいていきます。
マイナス(−)側に調整すると緑色に近づいていきます。

⚠ 映像の白い部分と黒い部分は調整されません。

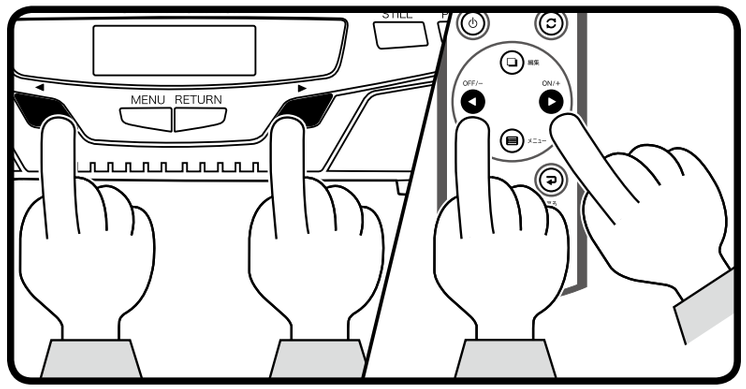


色あい調整−1 の表示	色あい調整なし の表示	色あい調整+1 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR PHA−1	DIGITAL VIDEO EDITOR PHA00	DIGITAL VIDEO EDITOR PHA+1

クロマ調整

[初期値：0]　[調整範囲：−5 ～ +5]

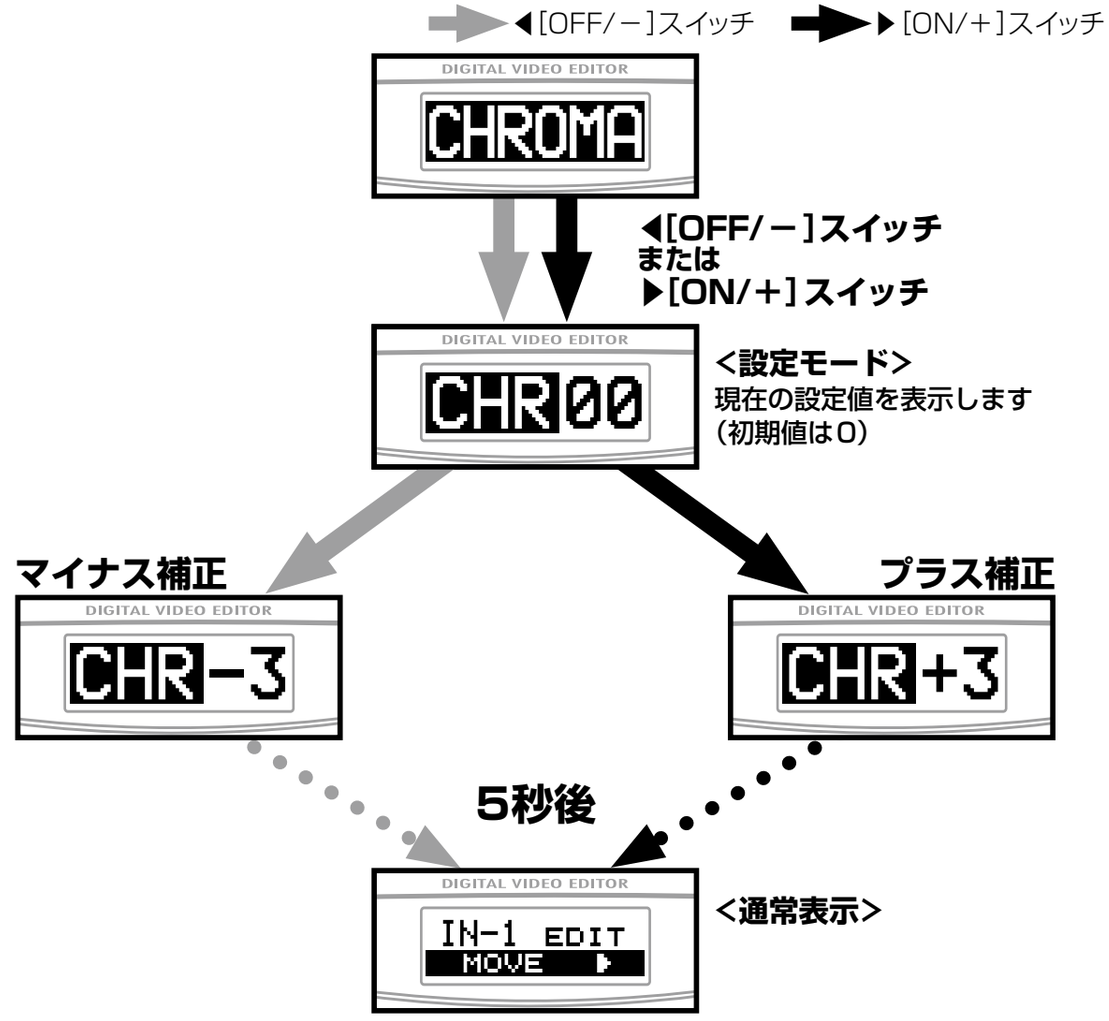
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/−]スイッチまたは▶[ON/+]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：入力した映像の色の濃さを調整して出力します。

●使用用途：色あせた古いビデオテープの映像や色の濃すぎる映像の色濃度を調整できます。

●調整方法：**プラス(+)側**に調整すると全体的に色が濃くなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると色が薄くなるとともに白黒映像に近づいていきます。

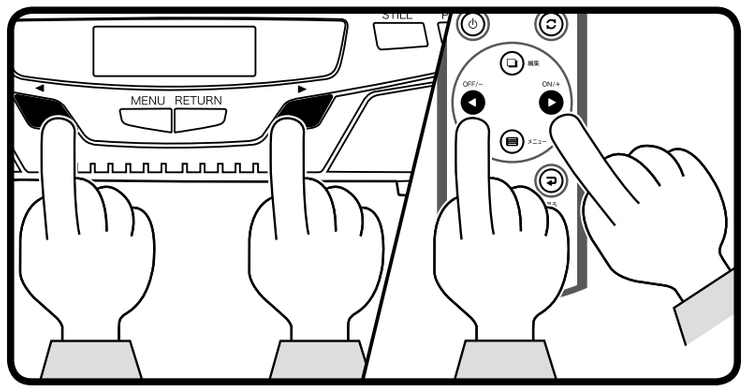


クロマ調整−3 の表示	クロマ調整なし の表示	クロマ調整+3 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR CHR-3	DIGITAL VIDEO EDITOR CHR00	DIGITAL VIDEO EDITOR CHR+3

音量調整

[初期値 : 10]　[調整範囲 : 0 ～ 20]

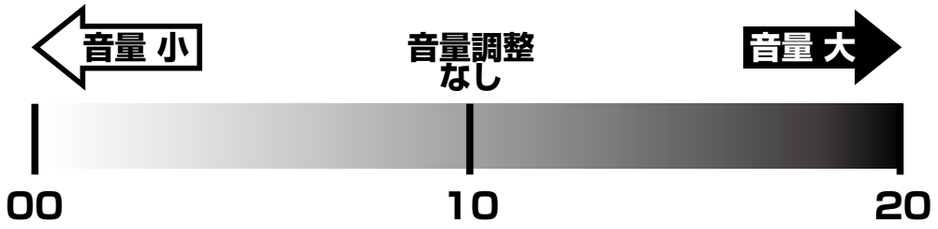
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。

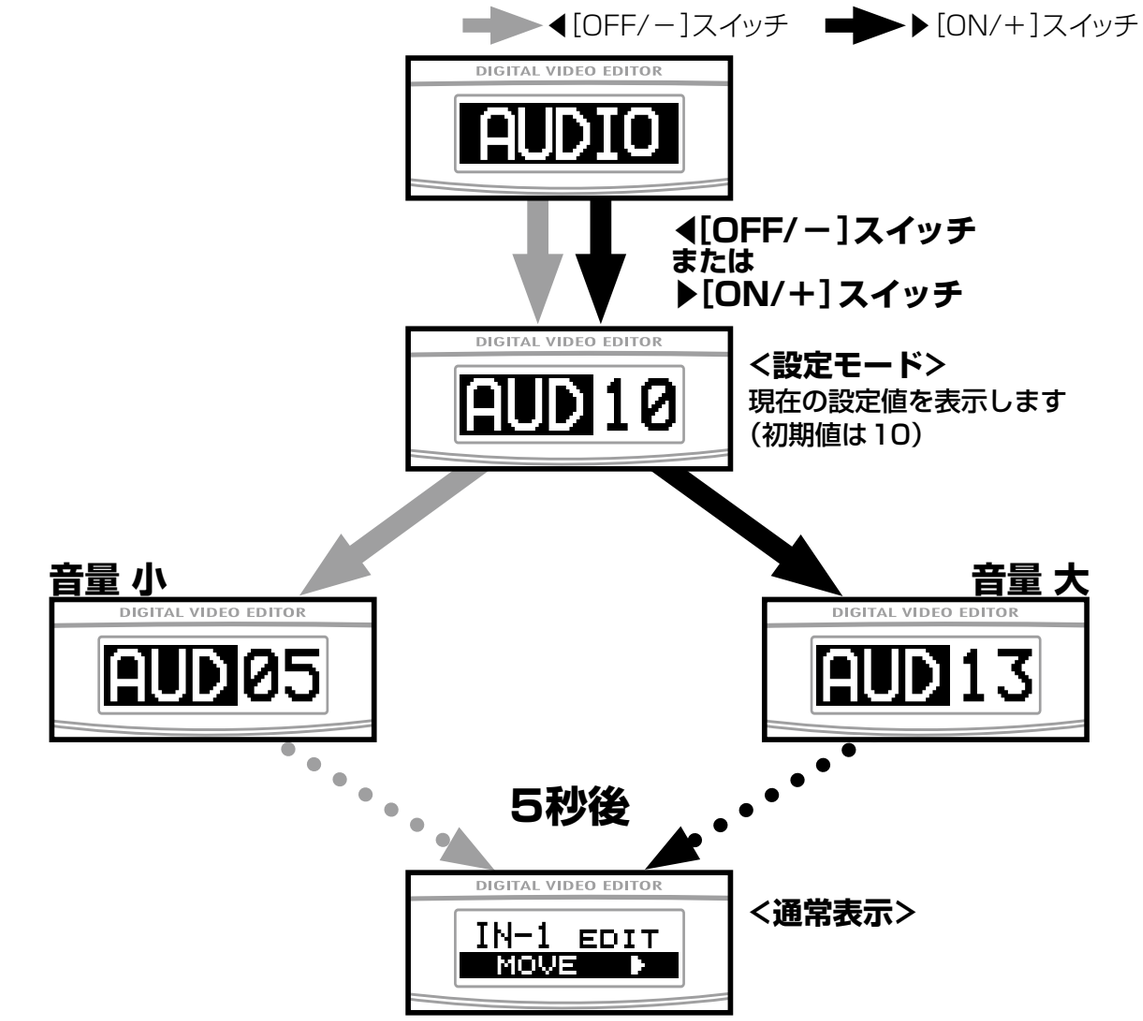


●効　　果：入力した音声を増減します。

●使用用途：入力した音声が大きすぎる、または小さすぎると感じた場合に使用します。

●設定方法：設定値が大きくなると音量が大きく、設定値が小さくなると音量が小さくなります。
（10に設定すると入力した音量をそのまま出力します）



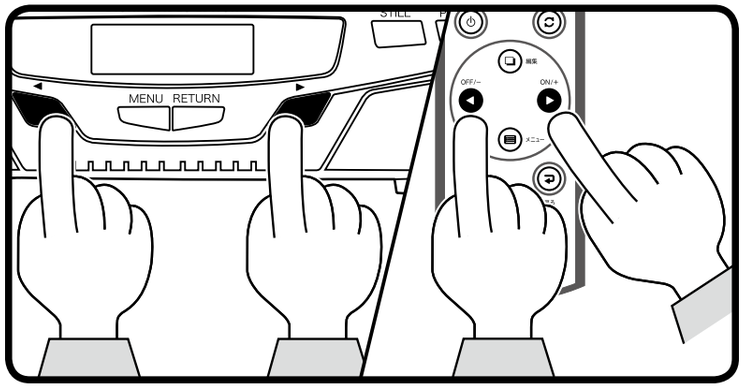


音量調整 5 の表示	音量調整なし の表示	音量調整 13 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR AUD 05	DIGITAL VIDEO EDITOR AUD 10	DIGITAL VIDEO EDITOR AUD 13

AGC（オートゲインコントロール）設定

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。

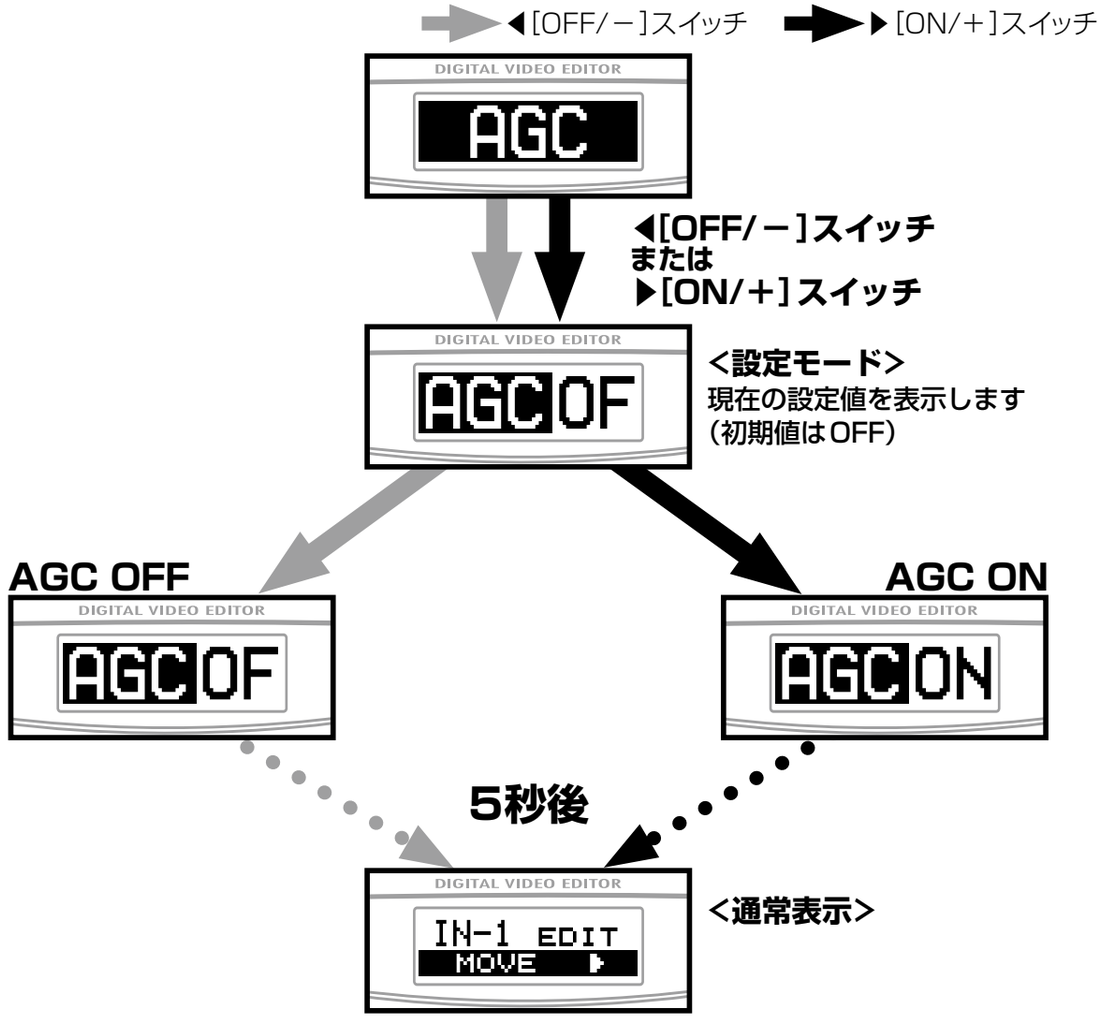


●効　　果：入力した映像信号を最適値に変換して出力します。

●使用用途：入力した映像が明るすぎる、または暗すぎると感じた場合に使用します。

●設定方法：「**ON**」に設定すると映像信号を自動調整します。
「**OFF**」に設定すると自動調整はおこないません。

※「ON」に設定すると、他の映像調整機能の効果が分かりにくくなる場合があります。

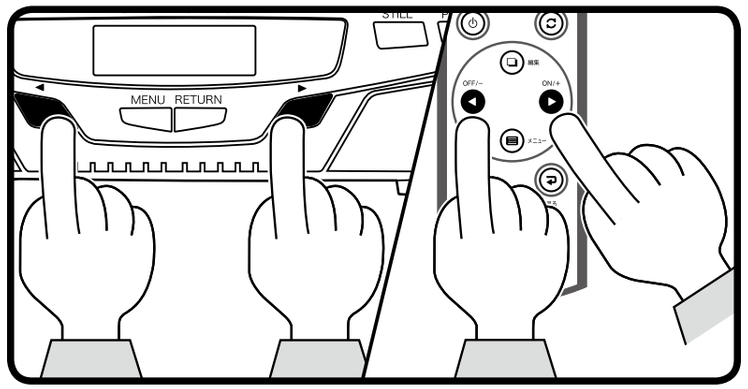


AGC OFF の表示	AGC ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR AGCOF	DIGITAL VIDEO EDITOR AGCON

画質補正

[初期値 : OFF]　[設定範囲 : OFF/ON]

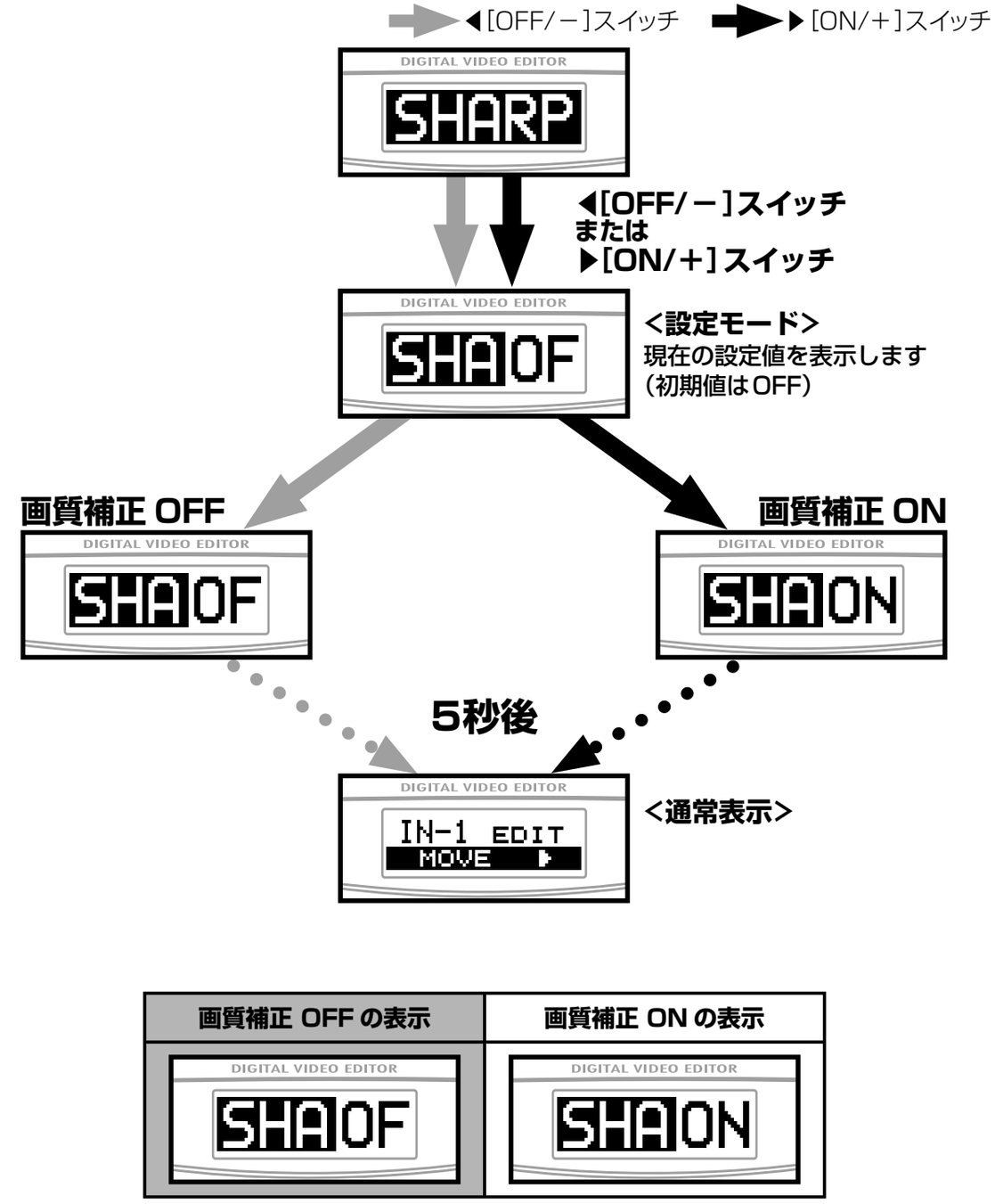
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：入力した映像にシャープさを加えて出力します。

●使用用途：映像が全体的にぼやけていると感じた場合に境目がはっきりとした見やすい映像に設定できます。

●設定方法：「**ON**」に設定すると輪郭を強調した映像になります。主にVHS(アナログメディア)の映像を編集するときに設定します。
「**OFF**」に設定すると輪郭を強調しない映像になります。主にDVD(デジタルメディア)の映像を編集するときに設定します。

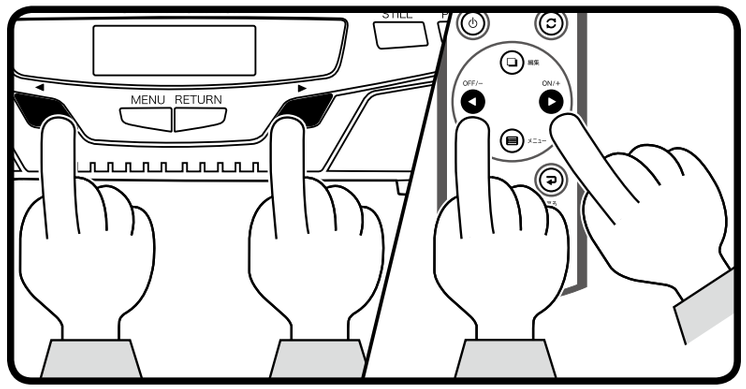


画質補正 OFF の表示	画質補正 ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR SHAOF	DIGITAL VIDEO EDITOR SHAON

3Dノイズリダクション設定

[初期値：OFF]　[設定範囲：OFF/ON]

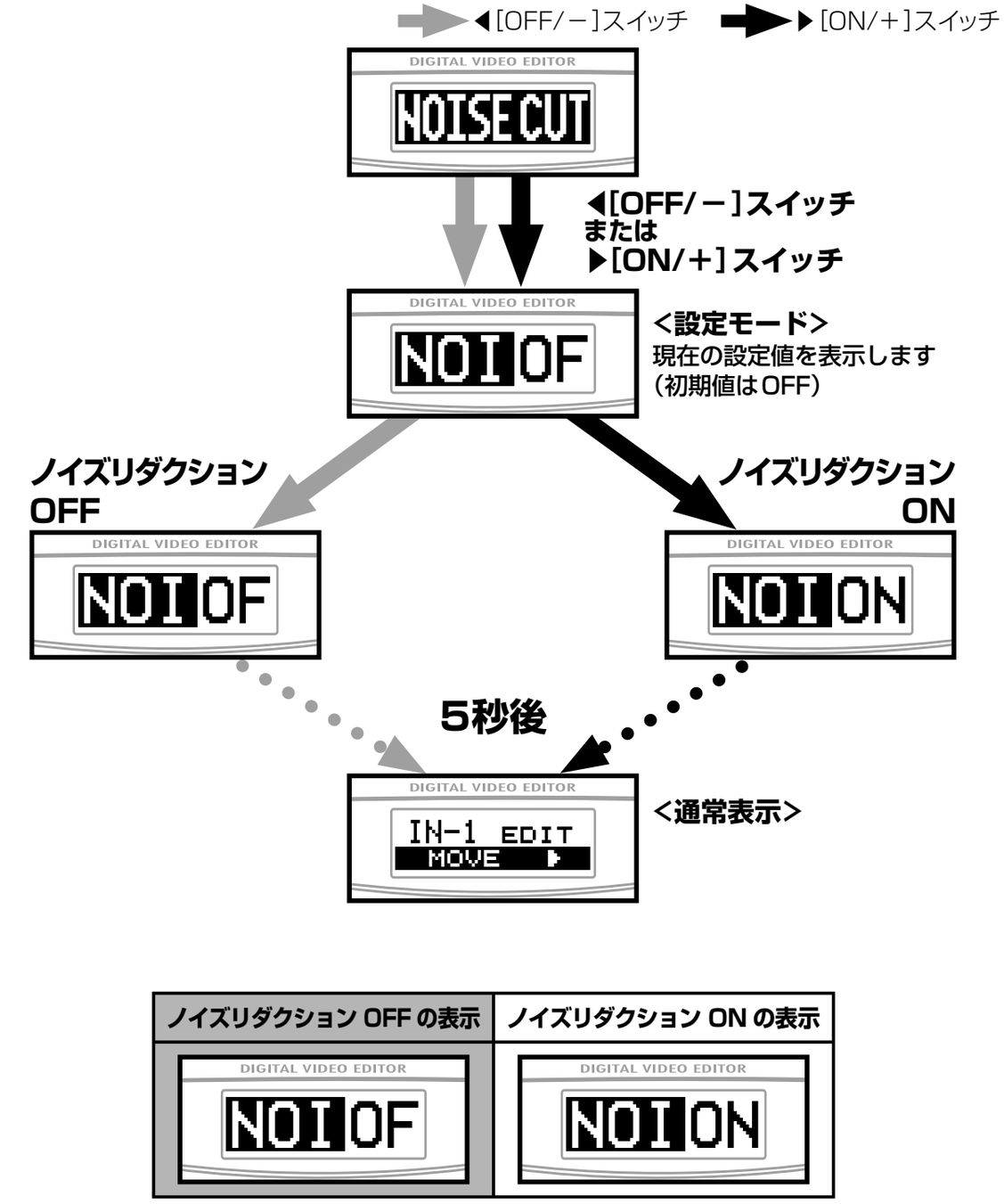
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：主にVHSや8mmビデオなどアナログ映像に含まれている、ブロックノイズやざらつきノイズを低減します。

●使用用途：アナログ映像の編集時にノイズが目立つ場合に使用します。

●設定方法：「**ON**」に設定するとノイズ低減処理をおこなってから映像を出力します。
「**OFF**」に設定するとノイズ低減処理をおこなわずにそのまま出力します。

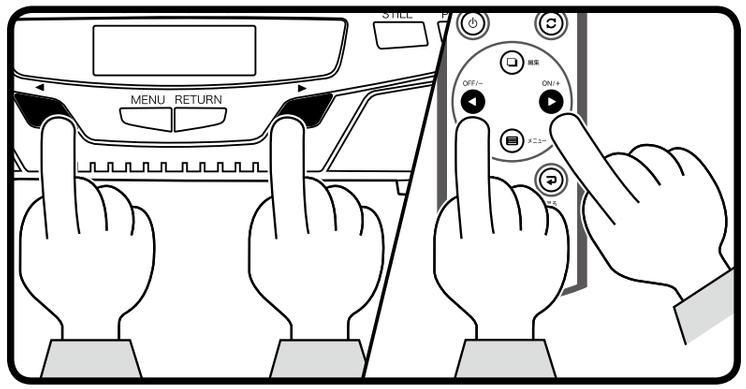


ノイズリダクション OFF の表示	ノイズリダクション ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR NOI OF	DIGITAL VIDEO EDITOR NOI ON

ブルーバック出力

[初期値 : OFF]　[設定範囲 : OFF/ON]

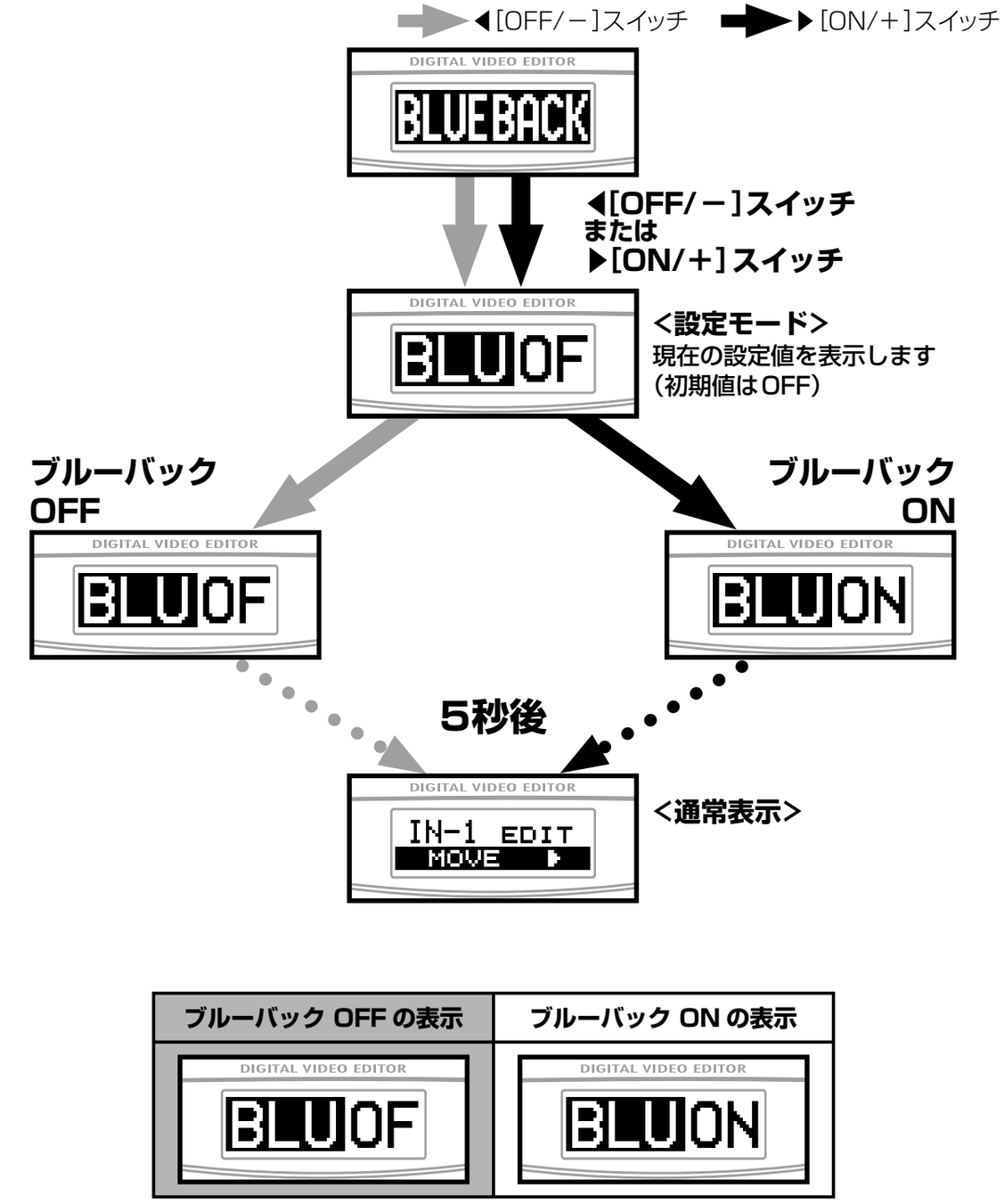
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：映像信号が入力されないときに、ブルーバック信号を出力するかしないかを選択できます。

●使用用途：映像信号が入力されたときに自動的に録画を開始する録画機器(オートREC対応録画機)を使用する際、「OFF」に設定します。

●設定方法：「**ON**」に設定するとブルーバック信号を出力します。
「**OFF**」に設定するとブルーバック信号は出力しません。

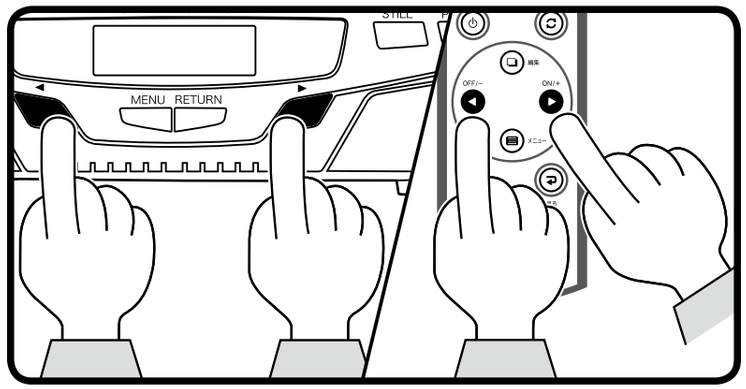


ブルーバック OFF の表示	ブルーバック ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR BLUOF	DIGITAL VIDEO EDITOR BLUON

カラーバー出力

[初期値 : OFF]　[設定範囲 : OFF/ON]

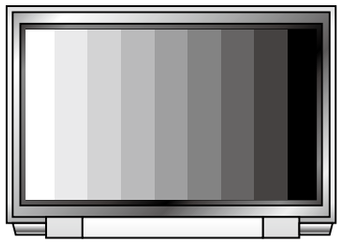
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。

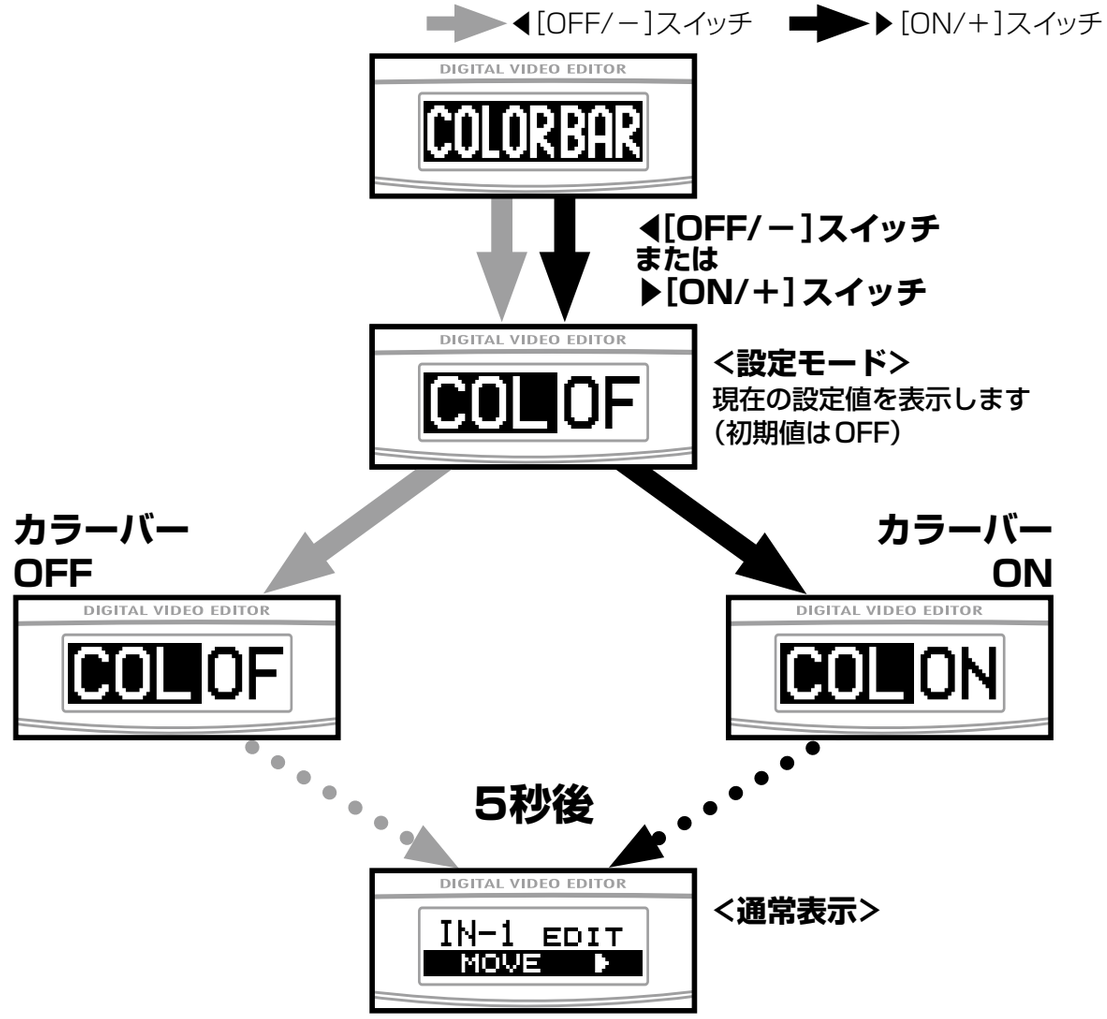


●効　　果：カラーバー信号を出力します。

●使用用途：モニターの色調整の際に表示させて使用します。録画するときに最初の５秒間ほど録画しておくと、モニターを変えたときに色調整の基準にできます。

●設定方法：「**ON**」に設定するとカラーバー信号を出力します。
「**OFF**」に設定するとカラーバー信号は出力しません。



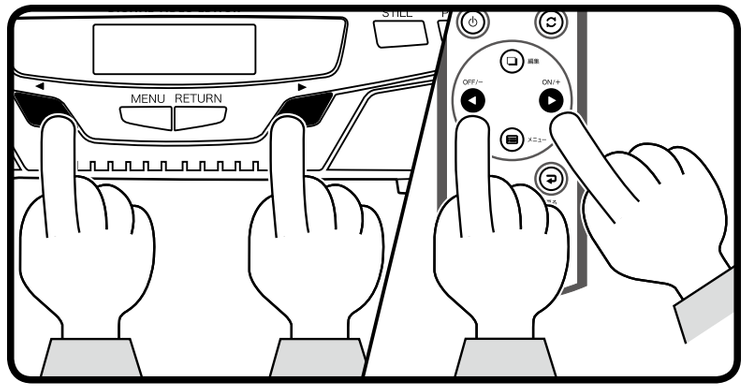


カラーバー OFF の表示	カラーバー ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR COLOF	DIGITAL VIDEO EDITOR COLON

オートパワー設定

[初期値:OFF] [設定範囲:OFF/ON]

1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：映像信号を入力すると自動的に電源が入ります。
（条件：AC アダプター接続・主電源スイッチ ON）

●使用用途：主に録画機のオート REC 機能※使用時に使用します。
（その際は必ずブルーバック出力を「OFF」に設定してください。「ON」に設定していると、再生機器側からの映像の録画が終了してもブルーバックを録画し続けてしまいます）

●設定方法：「**ON**」に設定すると、映像信号を入力したと同時に自動的に電源が入ります。
「**OFF**」に設定すると、映像信号を入力しても自動的に電源は入りません。

※映像信号を入力すると自動的に録画を開始する機能

⚠ 自動的に電源をOFFにすることはできません。

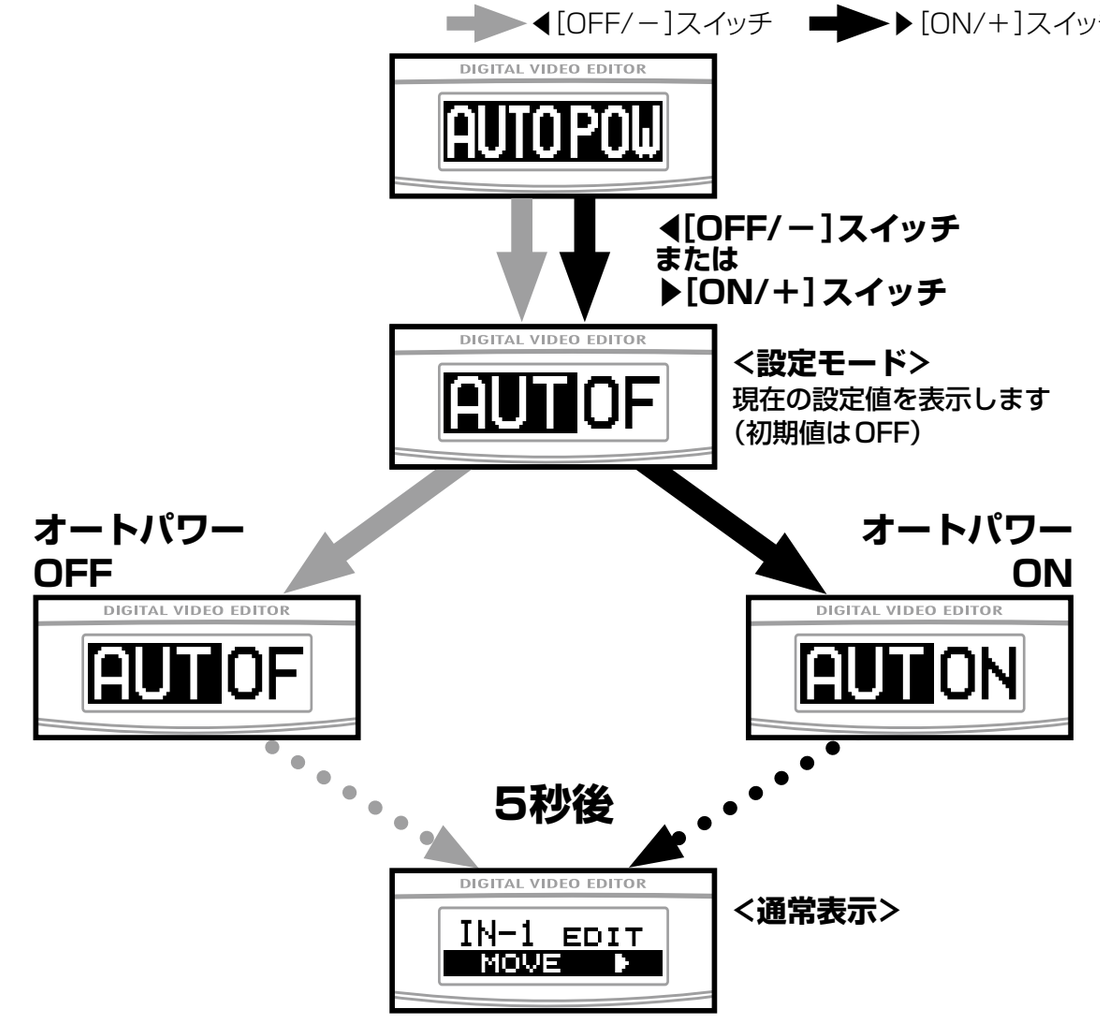
■入力1に接続している再生機器の映像を、オートパワー機能を使用して録画する場合

SELECT[入力切替]スイッチを押して「IN-1」を選択し、映像信号が入力されていないことを確認してからPOWER[電源ON/OFF]スイッチを押して電源を切ります。

■入力2に接続している再生機器の映像を、オートパワー機能を使用して録画する場合

SELECT[入力切替]スイッチを押して「IN-2」を選択し、映像信号が入力されていないことを確認してからPOWER[電源ON/OFF]スイッチを押して電源を切ります。

⚠「THROU」(8 ページ参照) に設定しているとオートパワー機能は動作しません。

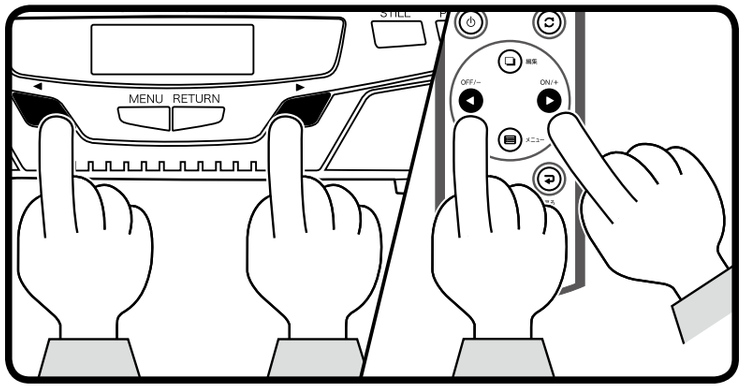


オートパワー OFF の表示	オートパワー ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR AUTOF	DIGITAL VIDEO EDITOR AUTON

ワイド識別信号出力方法設定

[初期値 : AU]　[設定範囲 : AU/MN]

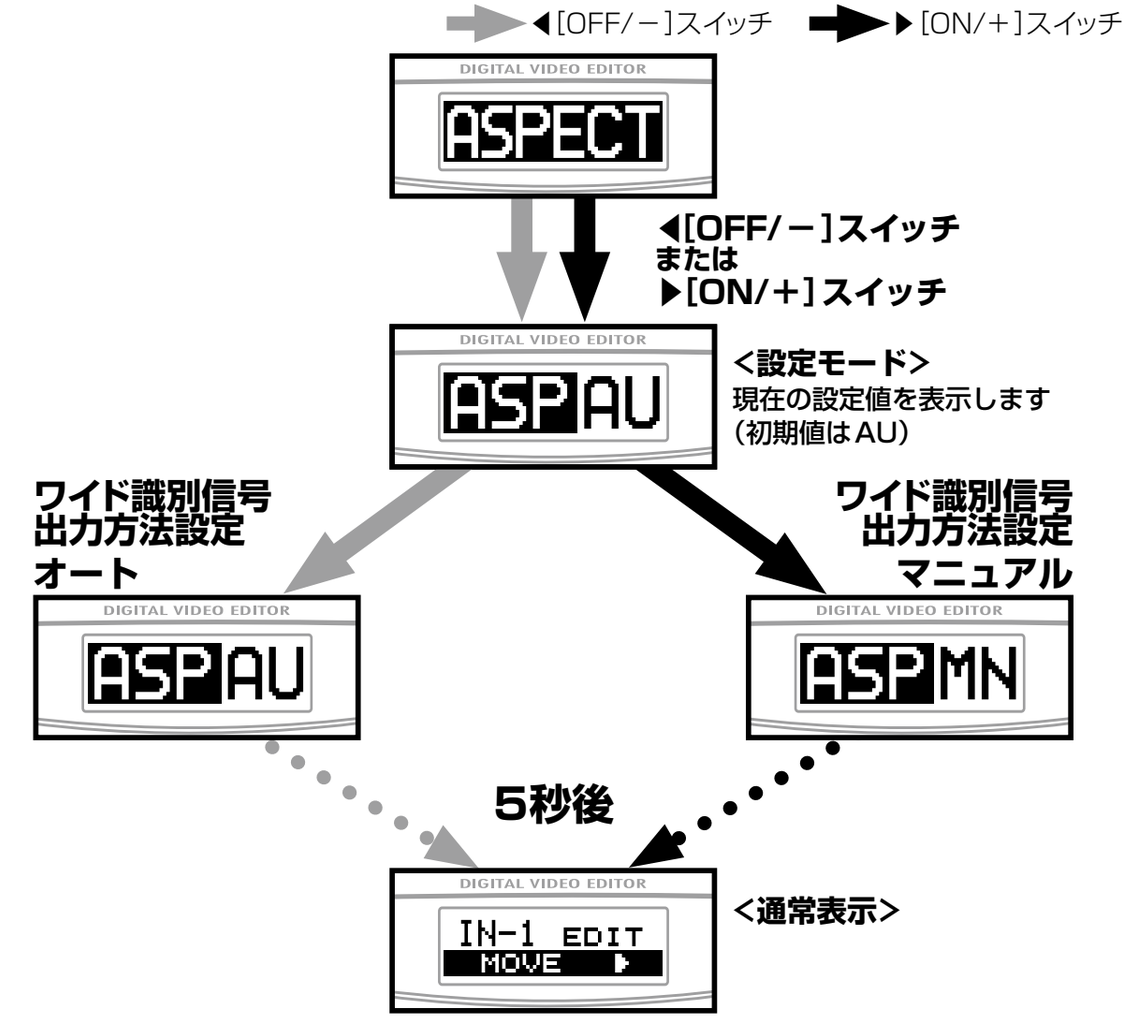
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：ワイド識別信号の出力方法を選択します。

●使用用途：通常の使用では「AU」(オート)、ワイド識別信号をマニュアル出力する場合は「MN」(マニュアル)に設定します。

●設定方法：「**AU**」に設定すると、ワイド識別信号を入力した場合はすべてのワイド識別信号(S1/S2/ID-1)を出力します。
「**MN**」に設定すると、次項目「16:9ワイド識別信号強制出力設定」の設定内容が有効になります。

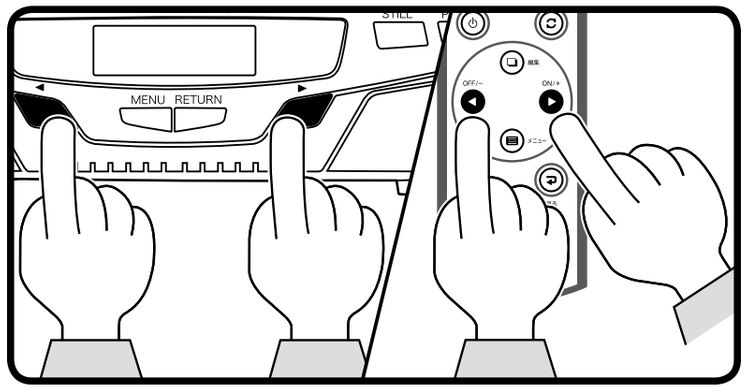


ワイド識別信号出力方法設定 オートの表示	ワイド識別信号出力方法設定 マニュアルの表示
DIGITAL VIDEO EDITOR ASP AU	DIGITAL VIDEO EDITOR ASP MN

16:9ワイド識別信号強制出力設定

[初期値:OFF]　[設定範囲:OFF/FU/ID/S2]

1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。

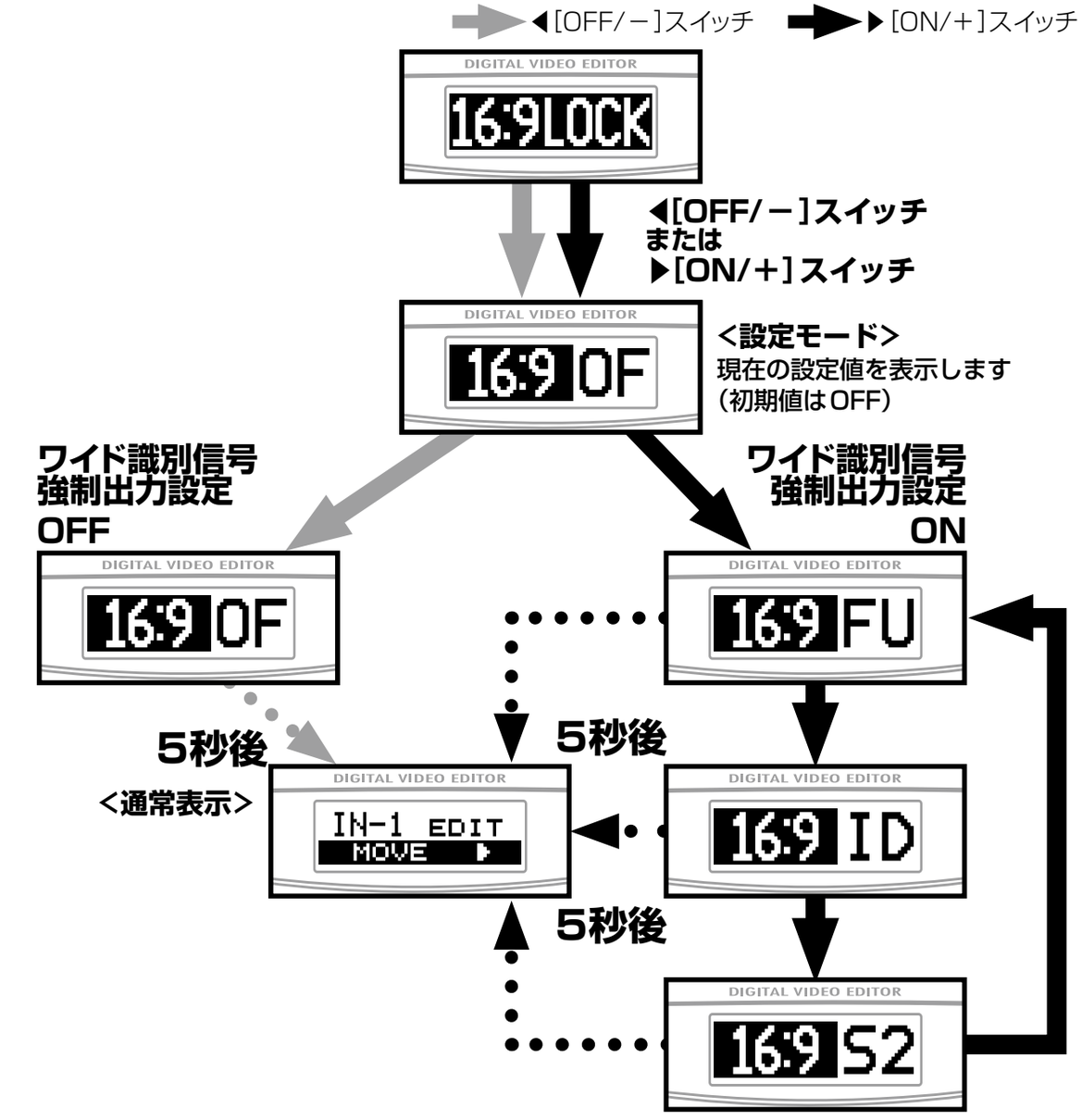


⚠ 前項目「ワイド識別信号出力方法設定」を「MN」に設定することで、この項目の設定内容が有効になります。

●効　　果：ワイド識別信号を選択して出力したり、ワイド識別信号を除去できます。

●使用用途：録画機またはテレビが特定のワイド識別信号のみを認識する場合や、入力したワイド識別信号が録画機またはテレビが認識できるワイド識別信号と一致しない場合に、特定のワイド識別信号を選択して出力するよう設定します。または、ワイド識別信号を含んだ映像では高速ダビングができない機種で高速ダビングをおこないたいとき、ワイド識別信号を除去すれば高速ダビングが可能になります。

●設定方法：「**OF**」に設定すると、入力したワイド識別信号を除去します。
「**FU**」に設定すると、全てのワイド識別信号（S1/S2/ID-1/D端子専用ワイド識別信号）を強制出力します。
「**ID**」に設定すると、ワイド識別信号 ID-1 のみ強制出力します。
「**S2**」に設定すると、ワイド識別信号 S1/S2/D端子専用を強制出力します。

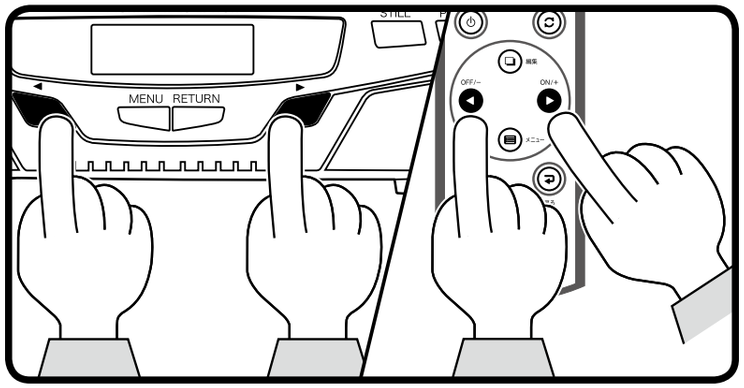


強制出力OFF（すべてのワイド識別信号除去）の表示	ID-1/S1/S2/D端子専用 強制出力の表示	ID-1のみ 強制出力の表示	S1/S2/D端子専用 強制出力の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR 16:9 OF	DIGITAL VIDEO EDITOR 16:9 FU	DIGITAL VIDEO EDITOR 16:9 ID	DIGITAL VIDEO EDITOR 16:9 S2

コンポーネント信号(D1/D2)設定

[初期値:D1] [設定範囲:D1/D2]

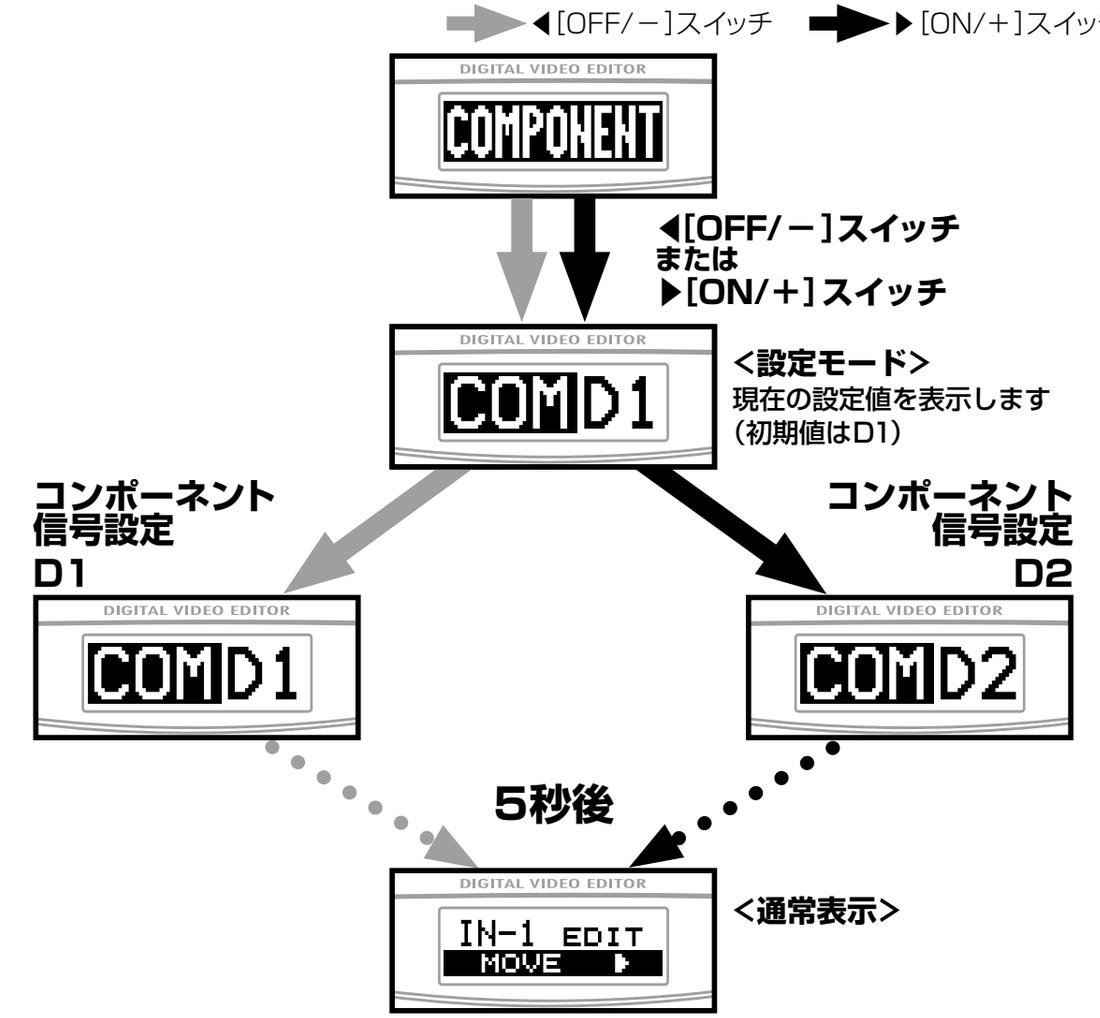
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：D端子から出力される映像信号(D1または D2)を選択することで、録画機またはテレビに合った最適な信号を出力することができます。

●使用用途：D端子出力に接続する機器に応じて設定します。

●設定方法：「**D1**」に設定すると、D1(525i)信号を出力します。
「**D2**」に設定すると、D2(525p)信号を出力します。

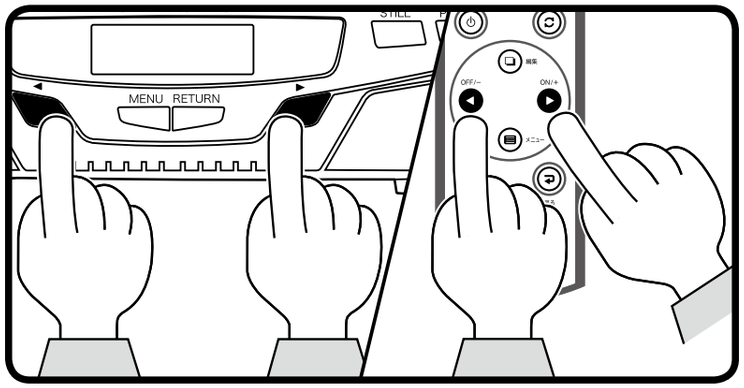


コンポーネント信号設定 D1 の表示	コンポーネント信号設定 D2 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR COM D1	DIGITAL VIDEO EDITOR COM D2

本体スイッチロック設定

[初期値 : OFF]　[設定範囲 : OFF/ON]

1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。

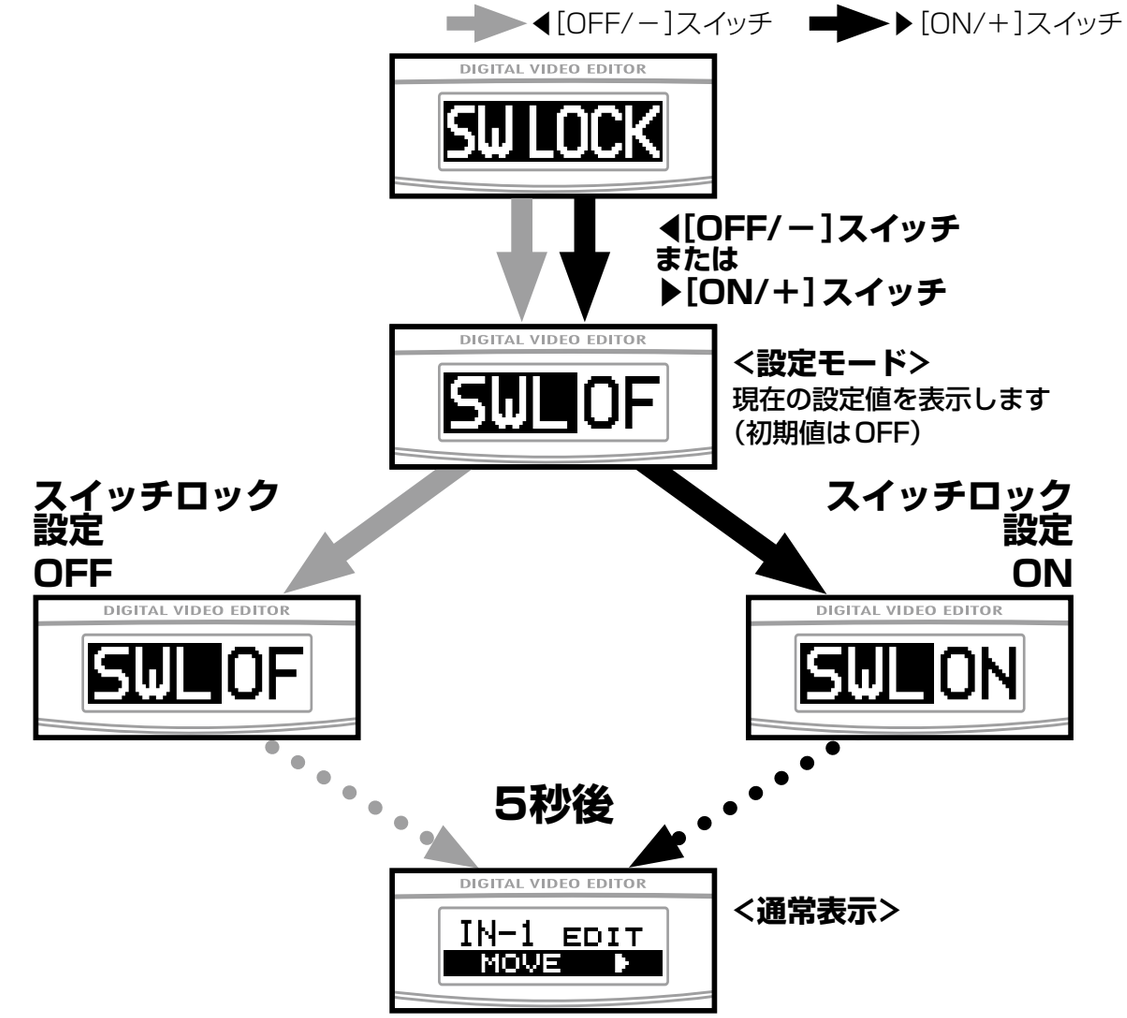


●効　　果：本体のスイッチ操作を無効にすることができます。

●使用用途：誤った操作によって設定した内容を変更してしまいたくないときに設定します。

●設定方法：「**ON**」に設定すると、本体スイッチの操作を受け付けなくなります※。
「**OFF**」に設定すると、本体スイッチの操作を受け付けます。

※解除（OFFに設定）するには、リモコンで「OFF」に設定するか、主電源スイッチを「OFF」→「ON」、またはACアダプターを抜き差しします。ただし、解除（OFFに設定）されるのは選択されている入力系統（IN-1 または IN-2）側のON設定のみです。（停電時も解除されますのでご注意ください）

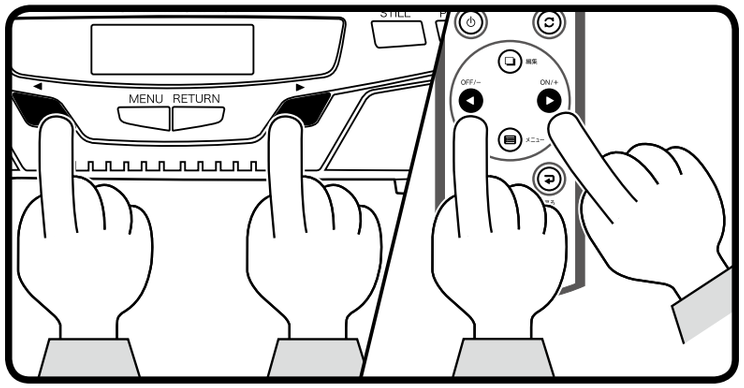


スイッチロック設定 OFF の表示	スイッチロック設定 ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR SWL OF	DIGITAL VIDEO EDITOR SWL ON

映像入力信号チェック機能

[初期値 : OFF]　[設定範囲 : OFF/ON]

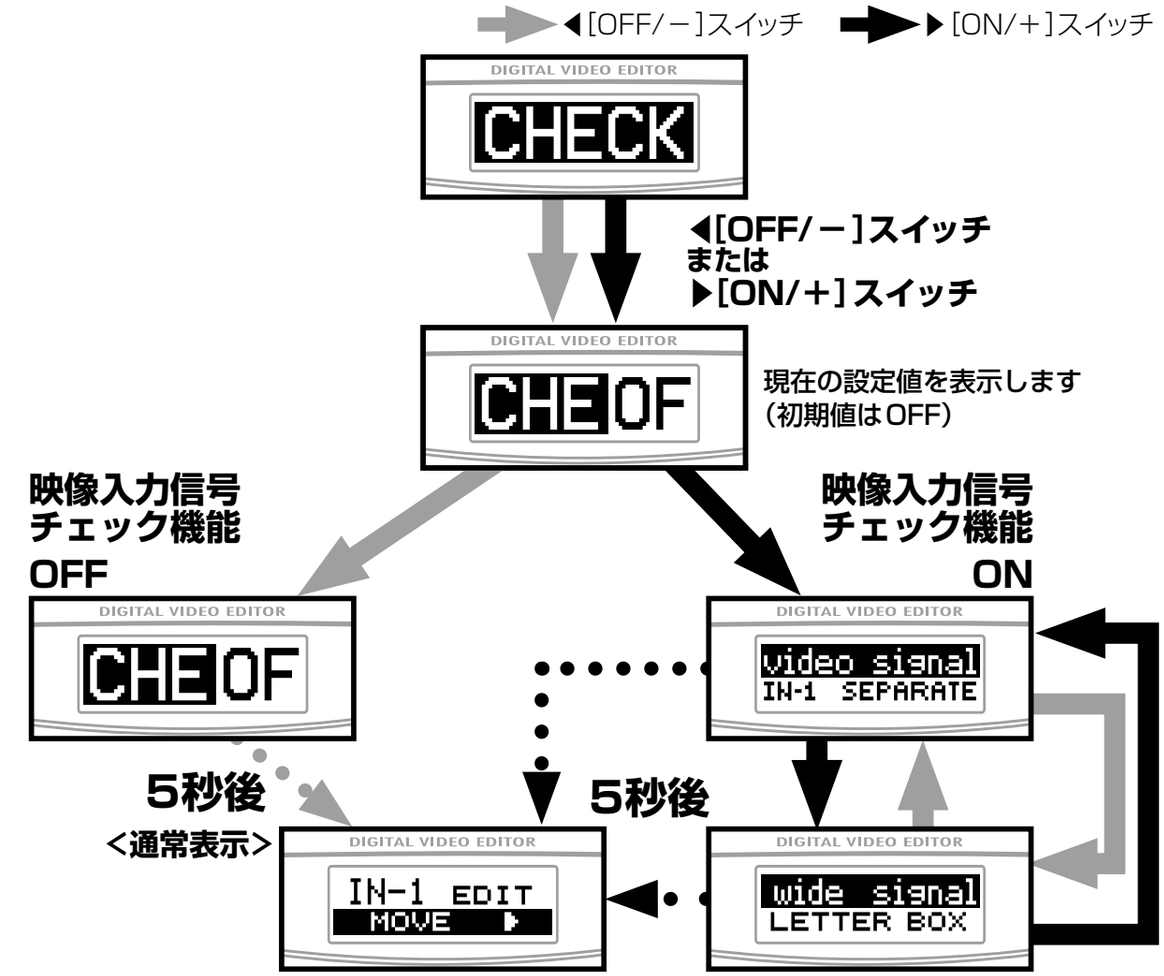
1. この項目を表示させるには、11～12ページをご覧ください。
2. ◀[OFF/－]スイッチまたは▶[ON/＋]スイッチを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更することができます。



●効　　果：複数のケーブルを接続している場合に、現在選択している入力系統・入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認できます。

●使用用途：現在選択している入力系統・入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認したいときに使用します。

●設定方法：この項目を呼び出し、右スイッチを押すことで現在している入力系統・映像信号の種類を表示します。さらに右スイッチまたは左スイッチを押すことで、現在入力しているワイド識別信号の種類を表示します。



セパレート信号 の表示	コンポジット信号 の表示	映像入力信号がない時 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR video signal IN-1 SEPARATE	DIGITAL VIDEO EDITOR video signal IN-1 COMPOSITE	DIGITAL VIDEO EDITOR video signal NOTHING!

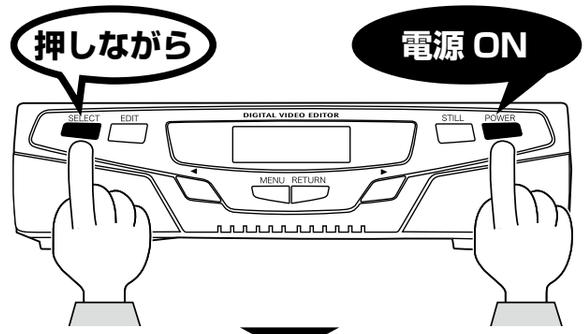
レターボックス信号 の表示	スクイーズ信号 の表示	ワイド識別信号がない時 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR wide signal LETTER BOX	DIGITAL VIDEO EDITOR wide signal SQUEEZE	DIGITAL VIDEO EDITOR wide signal NOTHING!

■ 全ての設定値を初期値に戻す

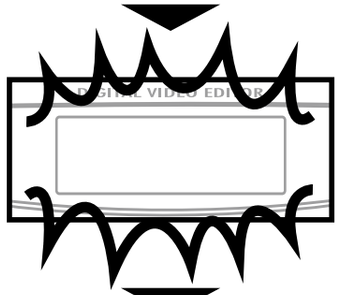
全ての設定値を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

1. 主電源スイッチ ON、ディスプレイに何も表示していない（電源が切れた）状態にする。
2. SELECTスイッチを押しながらPOWERスイッチを押すと、ディスプレイが点灯します（表示はありません）。そのまま3秒以上※1 押し続けるとリセット表示に切り替わり、全て初期状態になります。

※1 リセット表示に切り替わる前に手を離すと、リセットされません。



押し続ける



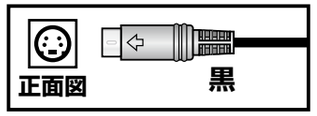
ディスプレイ点灯

3秒後

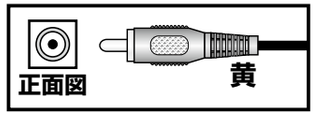
※リモコンでは操作できません。

■ 接続に使用する端子の種類

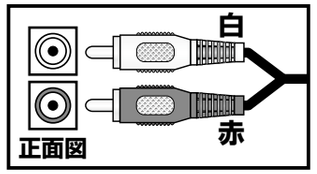
本機と再生機器 / 録画機器を接続するために必要な端子例です。



S端子（黒）：映像用
映像接続用の端子です。ピン端子と比べ、より高画質な映像を楽しめます。（1本同梱されています）

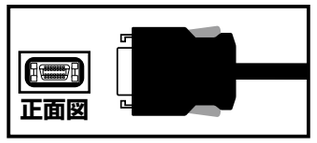


ピン端子（黄）：映像用
映像接続用の端子です。（1本同梱されています）



ピン端子（赤 / 白）：音声用
音声接続用の端子です。**赤→右音声**・**白→左音声**に対応しています。（1セット同梱されています）

※ DVEシリーズ別売ケーブル「DVE002」は使用できません。



D端子：映像用
映像接続用の端子です。D端子入力を搭載している機器に接続すると、より高画質な映像を楽しめます。(別途お買い求めください)

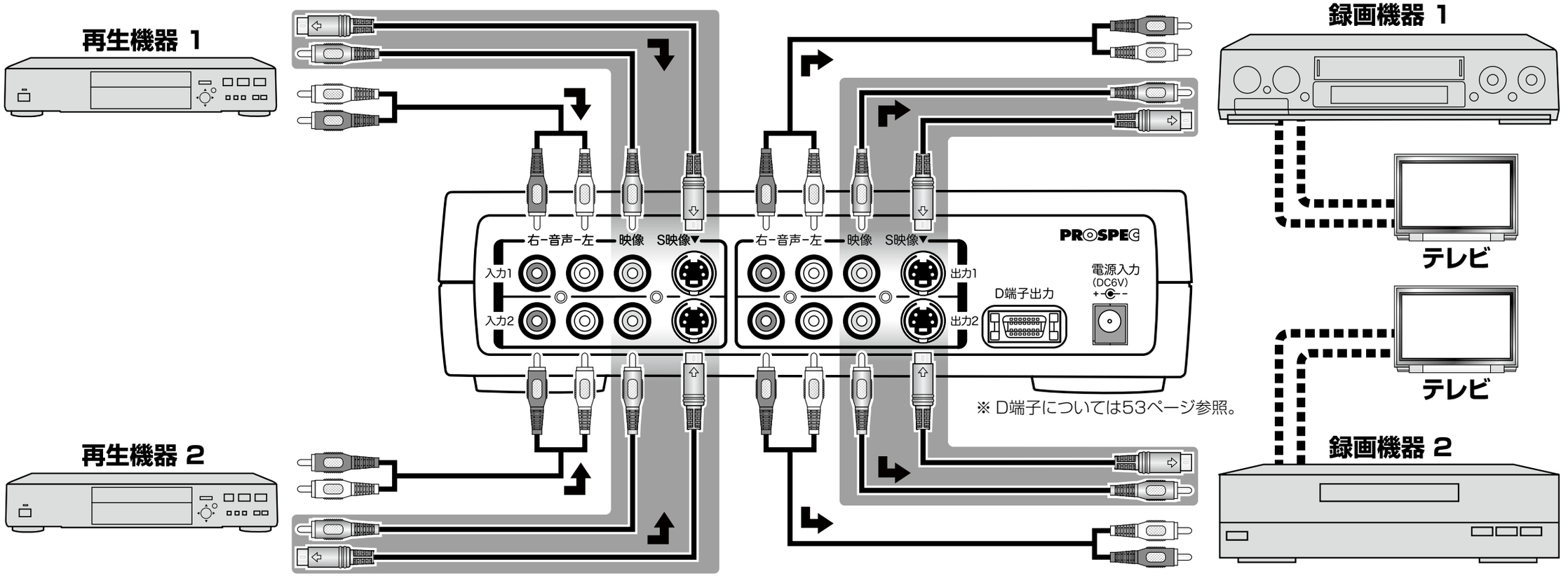
⚠ 当社ではご用意しておりません。市販品をご購入ください。

接続のしかた -基本編-

■ 接続概要図

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。接続の詳細は49ページ以降をご覧ください。

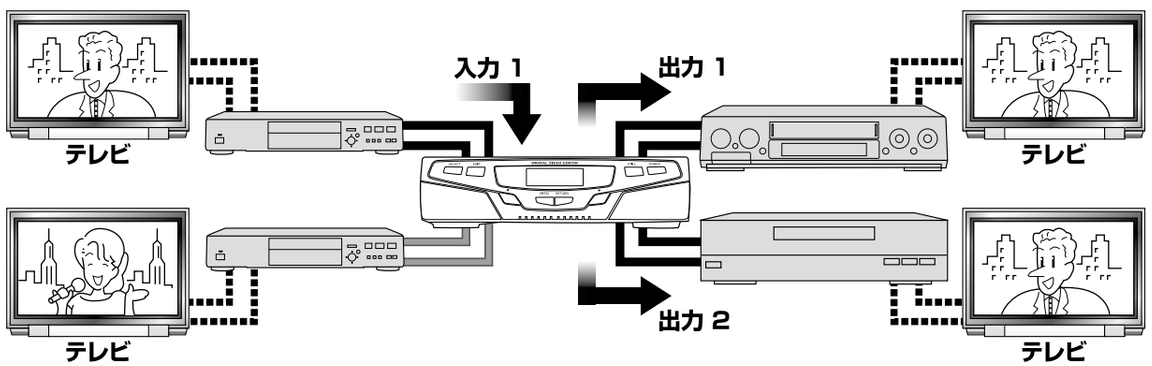
➡：信号が流れる方向



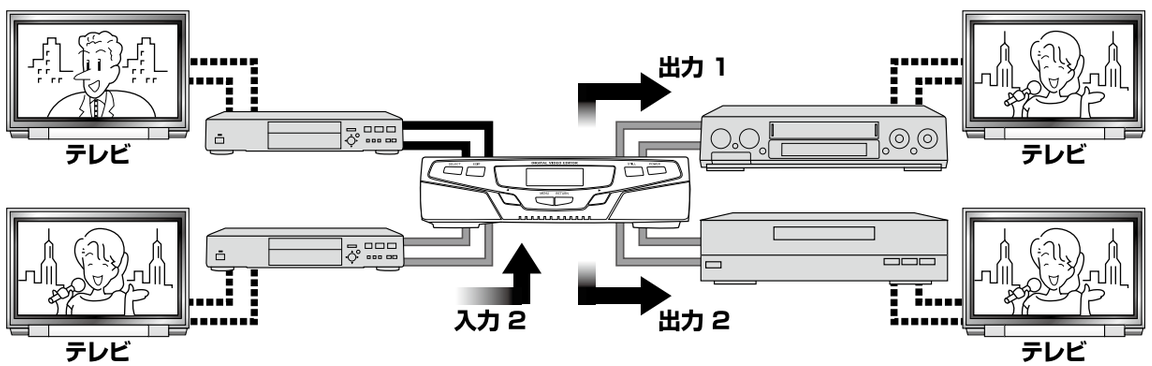
■ セレクター機能について

出力１・出力２は同じ映像・音声を出力します。
入力を切り替えると出力１・出力２も同様に切り替わります。

入力 1 選択時

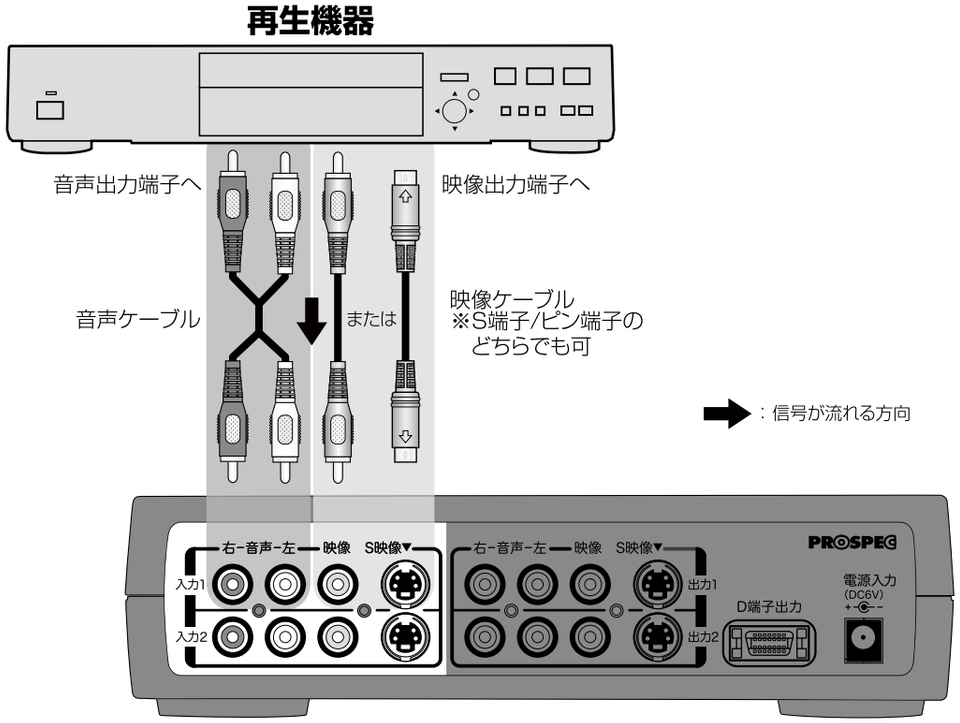


入力 2 選択時



接続のしかた -基本編-

再生機器を接続する



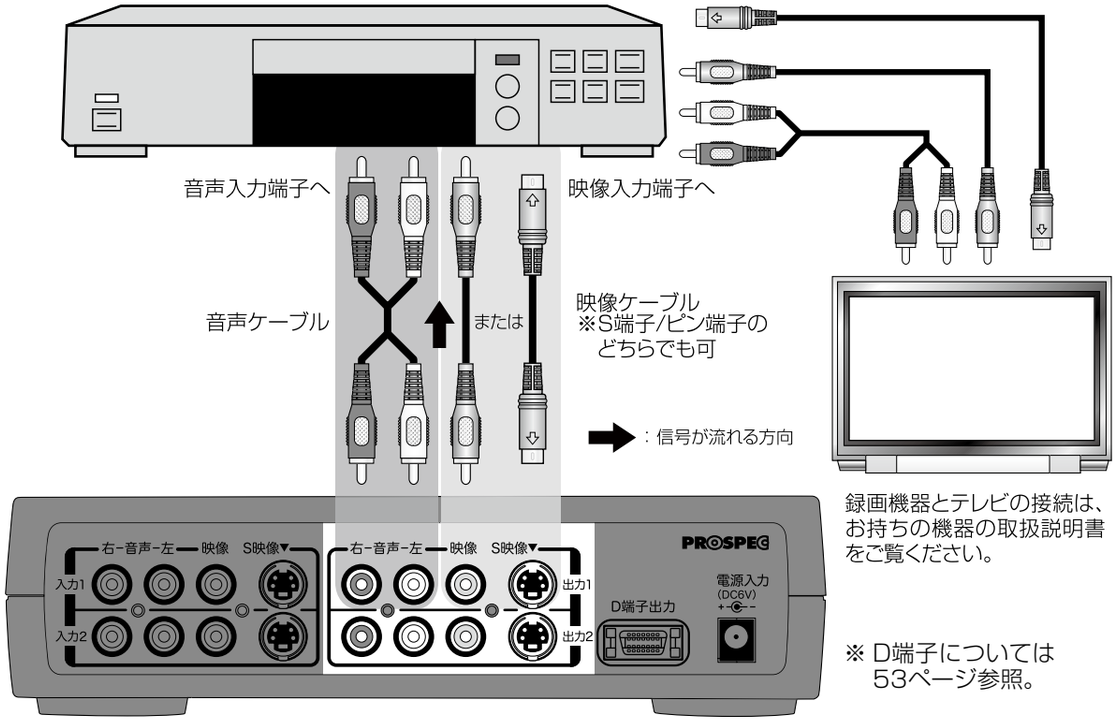
再生機器を「入力 1」または「入力 2」へ接続する（上図は「入力 1」接続例）。

映像ケーブル・音声ケーブルをそれぞれ接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています。

※S端子ケーブルとピン端子ケーブルの混合接続が可能です。それぞれの組み合わせによる画質レベルは下表のとおりです。

再生機器側のケーブル		DVE776		録画機器側のケーブル		画質
①	S端子	入力	出力	S端子		↑高
②	S端子	入力	出力	ピン端子		
③	ピン端子	入力	出力	S端子		
④	ピン端子	入力	出力	ピン端子		↓低

録画機器を接続する



録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

※ D端子については 53ページ参照。

録画機器を「出力 1」または「出力 2」へ接続する（上図は「出力 1」接続例）。

映像ケーブル・音声ケーブルをそれぞれ接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています。

！ワンポイント！

・1つの入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に接続した場合は､S端子ケーブルの映像が優先されます。
※ただし、本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
・1つの出力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブル/D端子をすべて同時に接続した場合は、すべて同時に映像が出力されます。
・映像信号を入力しているケーブルと出力しているケーブルの種類が異なる場合※は、映像がスルーされません（8 ページ参照）。　※［例］入力側ピン端子ケーブルに対して出力側S端子ケーブル、入力側S端子ケーブルに対して出力側ピン端子ケーブル

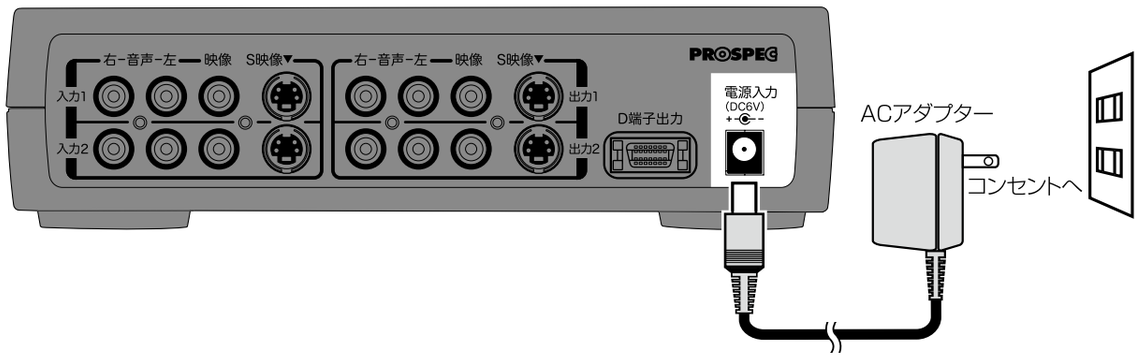
ワイド識別信号について（49 ページ下表）

①③の場合はS1/S2/ID-1の出力が可能です。②④の場合はID-1のみ出力が可能です。

重要 再生機器・録画機器の一方または両方とも「ワイド識別信号非対応」機器の場合、ワイド識別信号に対応した使用ができない場合があります。

接続のしかた -基本編-

電源を接続する



付属のACアダプターを「電源入力」、コンセントへ接続する。

！ワンポイント！

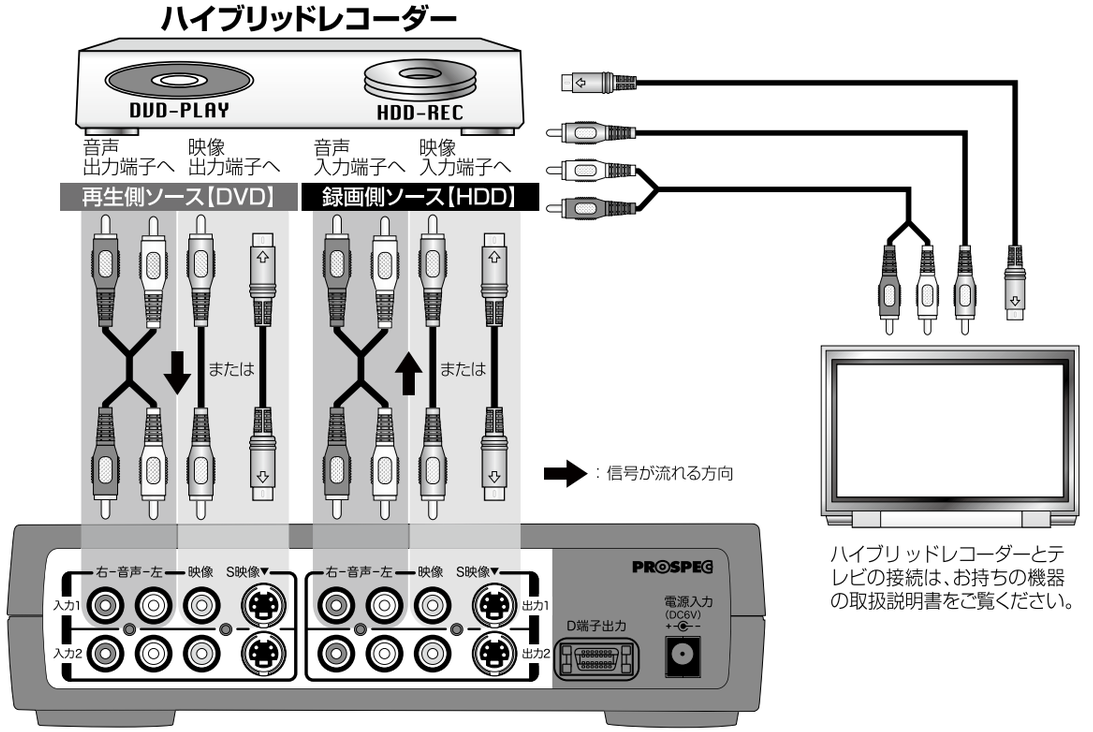
・壁に据付けのコンセント（AC100V）をご使用ください。
・ACアダプターをコンセントに差し込んだ瞬間、ディスプレイのバックライトが一瞬光りますが、故障ではありません。

⚠ 付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。

接続のしかた -応用編-

■ ハイブリッドレコーダーへの接続

※ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器
ハイブリッドレコーダー（HDD&DVD一体型機など）1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。



ハイブリッドレコーダーとテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

①ハイブリッドレコーダーの映像出力と本機の「入力 1」または「入力 2」を接続する。
②本機の「出力 1」または「出力 2」とハイブリッドレコーダーの映像入力を接続する。
（上図は「入力 1」・「出力 1」接続例）
音声ケーブルはハイブリッドレコーダーの音声出力端子と音声入力端子を直接接続します。
映像ケーブルはS端子/ピン端子どちらも対応しています（混合接続も可）。

録画手順としては、まず最初にHDDに切り替え、チャンネルを外部入力（L1･L2など）に設定します。そして編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

！ワンポイント！

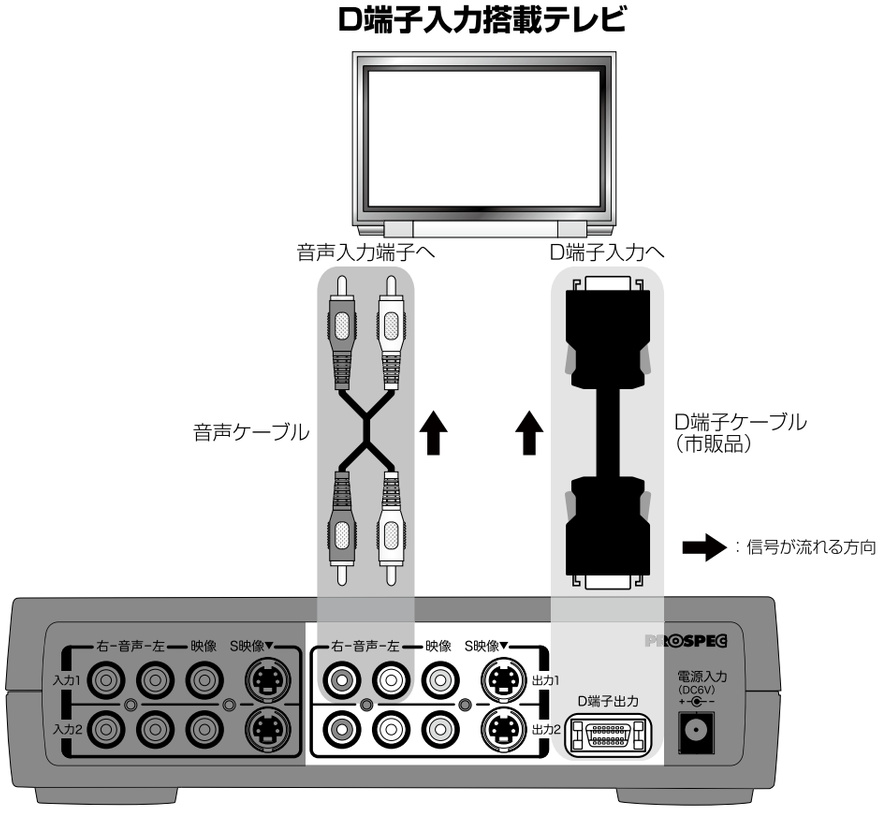
・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
・ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本機の回路を通した映像ではありません。本機の回路を通した映像を見る場合は、テレビを本機の出力（空いている方）に直接接続してください。
・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。
※外部入力による等倍速ダビングとなります。
・録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

接続のしかた -応用編-

■ D端子入力搭載機器への接続

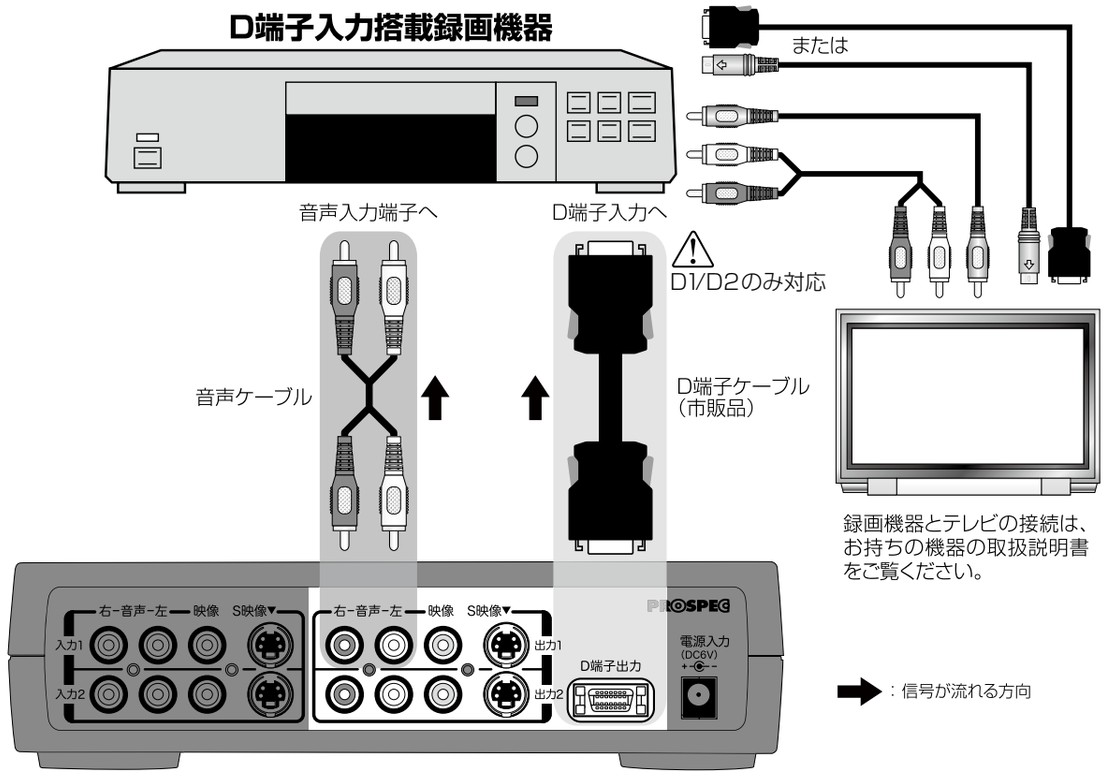
D端子入力を搭載しているテレビや録画機器などに接続できます。本機はD1及びD2出力に対応しています。
D2出力以上を搭載したテレビや録画機器と接続すると、より高画質な映像を楽しめます。

D端子入力を搭載しているテレビに接続する場合



※入力側の接続については49ページをご参照ください。

D端子入力を搭載している録画機器に接続する場合



※入力側の接続については49ページをご参照ください。

！ワンポイント！

・本機はD1及びD2出力に対応しています。

⚠ D2出力の際、テレビに映る映像がチラつくなど正常に表示されない場合は、D1に設定の上ご使用ください。

！ワンポイント！

・本機はD1及びD2出力に対応しています。

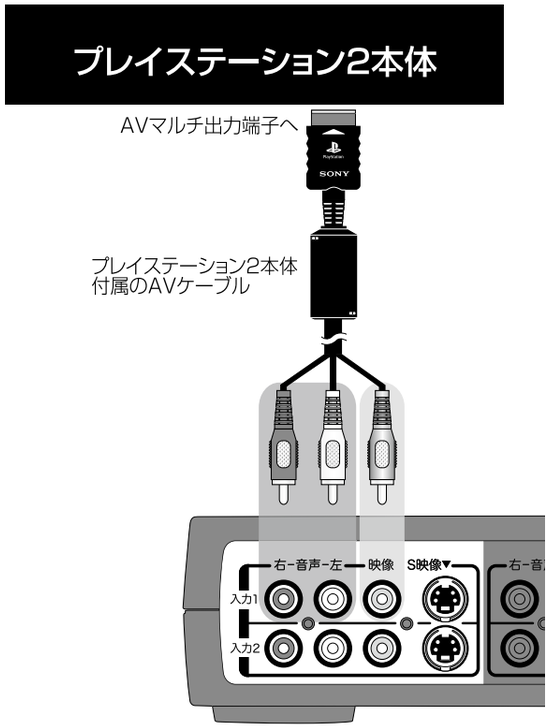
⚠ D2出力の際、録画された映像がチラつくなど正常に録画されない場合は、D1に設定の上ご使用ください。

接続のしかた -応用編-

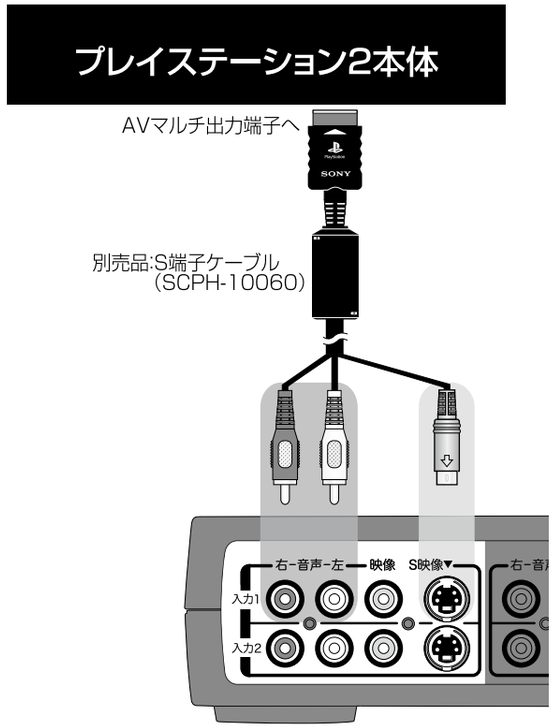
■ プレイステーション2への接続

プレイステーション 2 を再生機器として使用できます。（株）ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されている S 端子ケーブル（SCPH-10060）を使用するとより高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

プレイステーション2本体に付属のAV ケーブルを使用する場合



S端子ケーブル（SCPH-10060）を使用する場合



（上図は「入力 1」接続例）

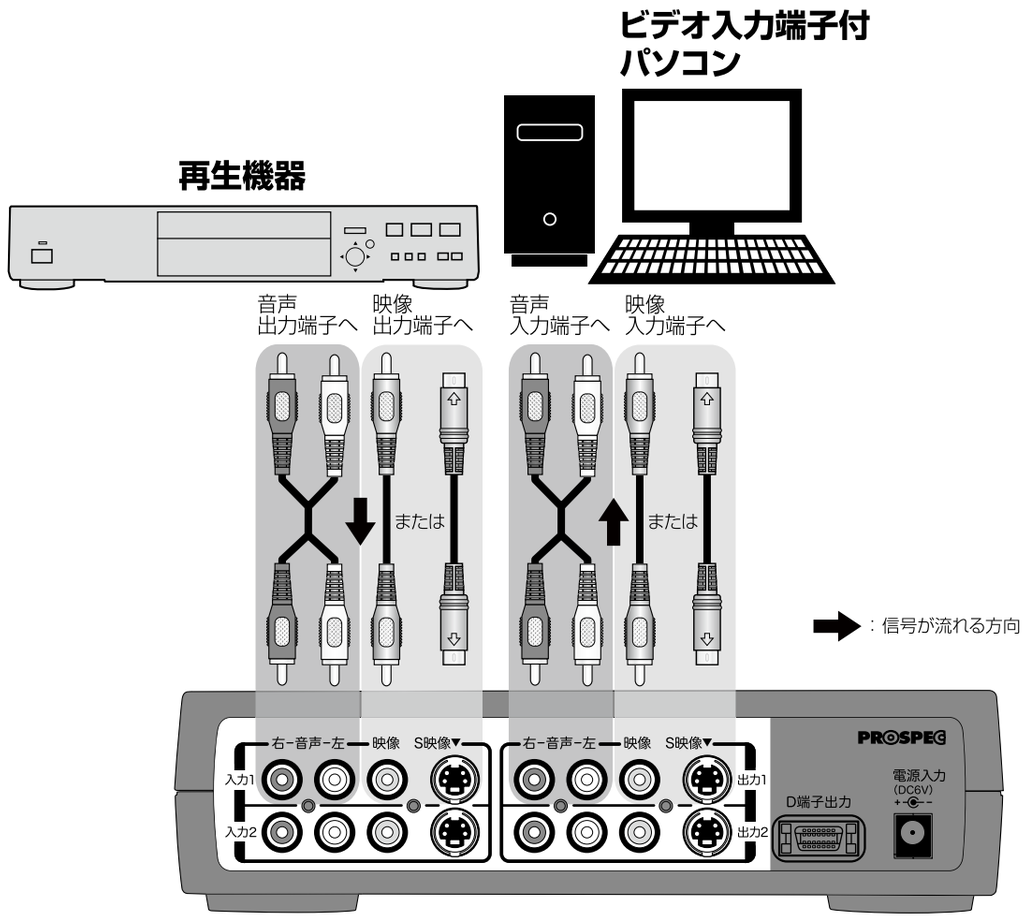
録画機器の接続方法は42ページ「接続のしかた」−録画機器を接続する−をご覧ください。

！ワンポイント！

・1つの入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に接続した場合は、S端子ケーブルの映像が優先されます。
※ただし、本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
・プレイステーション 2 は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

■ ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本機で編集した映像 / 音声をパソコンに取り込むことができます。※別途編集用のソフトを必要とする場合があります。



①再生機器の映像出力と本機「入力 1」または「入力 2」を接続する。
②本機の「出力 1」または「出力 2」とパソコンの映像入力を接続する。
（上図は「入力 1」・「出力 1」接続例）

音声ケーブルは再生機器の音声出力端子とパソコンの音声入力端子を直接接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています（混合接続も可）。

故障かな?と思ったら

■ 使用中のトラブルと回避方法

ワイド映像（16：9）が縦長（4：3）に映る

●録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。

映像に波がでる

●付属品以外のACアダプターを使用していると発生する場合があります。
付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

●1 つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続していると発生する場合があります。
ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。

●一部の接続機器（チューナー等）との相性により発生する場合があります。
弊社にご相談ください。

映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

●再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります（TBC 機能を有する場合）。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。

●再生機器または録画機器のDNR（デジタルノイズリダクション）機能がONになっていると発生する場合があります（DNR機能を有する場合）。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

映像がブレる

●再生機器または録画機器のDNR（デジタルノイズリダクション）機能がONになっていると発生する場合があります（DNR機能を有する場合）。再生機器または録画機器のDNR 機能をOFF にしてください。

ビデオデッキ（アナログソース）側で一時停止やスロー再生（特殊効果）をおこなうと、乱れた映像が出力される

●アナログソースに特殊効果を加えて本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。このような場合は本機の設定を「スルー」にしてください（8 ページ参照）。

ビデオキャプチャーを使用し、「EDIT」に設定すると画面下の映像が消える

●画面下の映像は処理上カットしていますので故障ではありません。なお、カットされている部分は通常のテレビモニターでは表示されません。

DVD-RWには直接録画できるが、DVD-Rには直接録画ができない。

●一部のHDD内蔵DVDレコーダーの仕様によっては、特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。そのような場合は、一旦HDDに録画してからHDD→DVD-Rへ録画してください。
なお、これは本機によるものではありません。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

■ Q&A

Q 映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには？

A 再生機器（チューナー等）を接続している入力系統（入力1または入力2）のメニュー項目「ブルーバック」をOFFに設定し、本機のオートパワー機能を設定します（33ページ参照）。再生側から映像信号が入力されると同時に本機の電源が自動的に入り、映像及び音声を出力します。

Q レンタルビデオや経年劣化したビデオ（共にVHS）を編集する際の注意点は？

A レンタルビデオは再生する頻度が高くテープ自体が劣化（傷んでいる）可能性がありますので、経年劣化したテープと同様に本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。

Q ピン端子ケーブル・S端子ケーブル以外の映像ケーブルは使用できますか？

A 映像出力用としてD端子ケーブルが使用できます（D1/D2 対応）。D端子ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください（当社では販売していません）。

Q 誤って本体に衝撃を加えてしまった、または本体に異物が入ったり水に濡れてしまった場合は？

A 直ちに AC アダプターをコンセントから外し、当社に点検・修理依頼をしてください。

Q 画質補正のノーマルとシャープで水平解像度の変化はありますか？

A 水平解像度の変化はありません。シャープ設定の場合、水平解像度の200～300本付近のレベルを上げて出力し、輪郭を強調しています。

Q リモコンの電池交換時期は？

A 使用頻度により交換時期が異なります。明らかに反応が悪くなったときが交換時期です。

Q 本機に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？

A 各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

PROSPEC

PROSPEC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2　TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは
倉敷支社（月～金曜日 AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:30 土日祝祭日を除く）
〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1509

HomepageURL http://www.prospec.co.jp/

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

DVE776-0608-YUM-SP11000